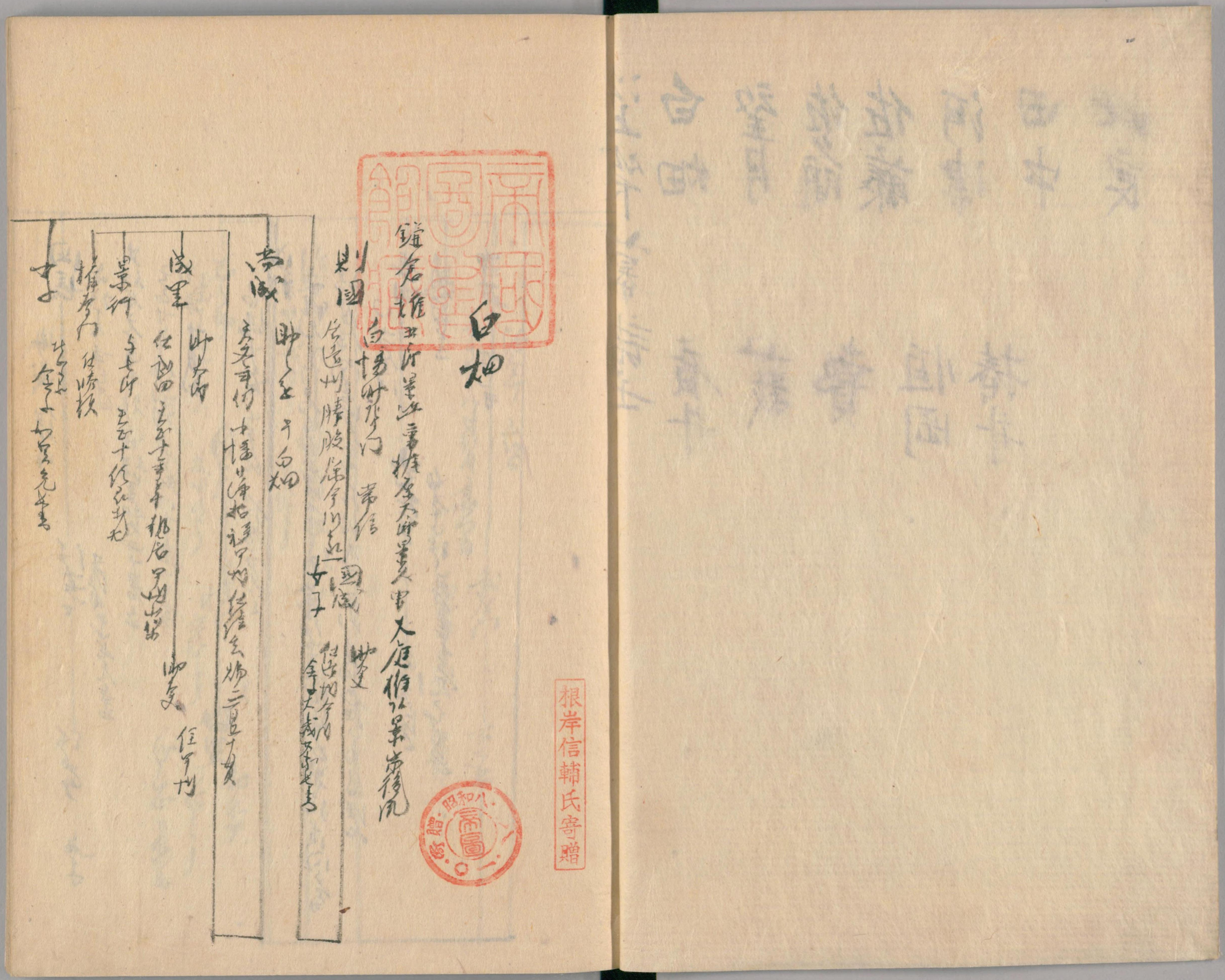
838
297
116

畑月藪
佐久間贄
佐藤恒岡
河津椿井
田中
此良
廣井

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用

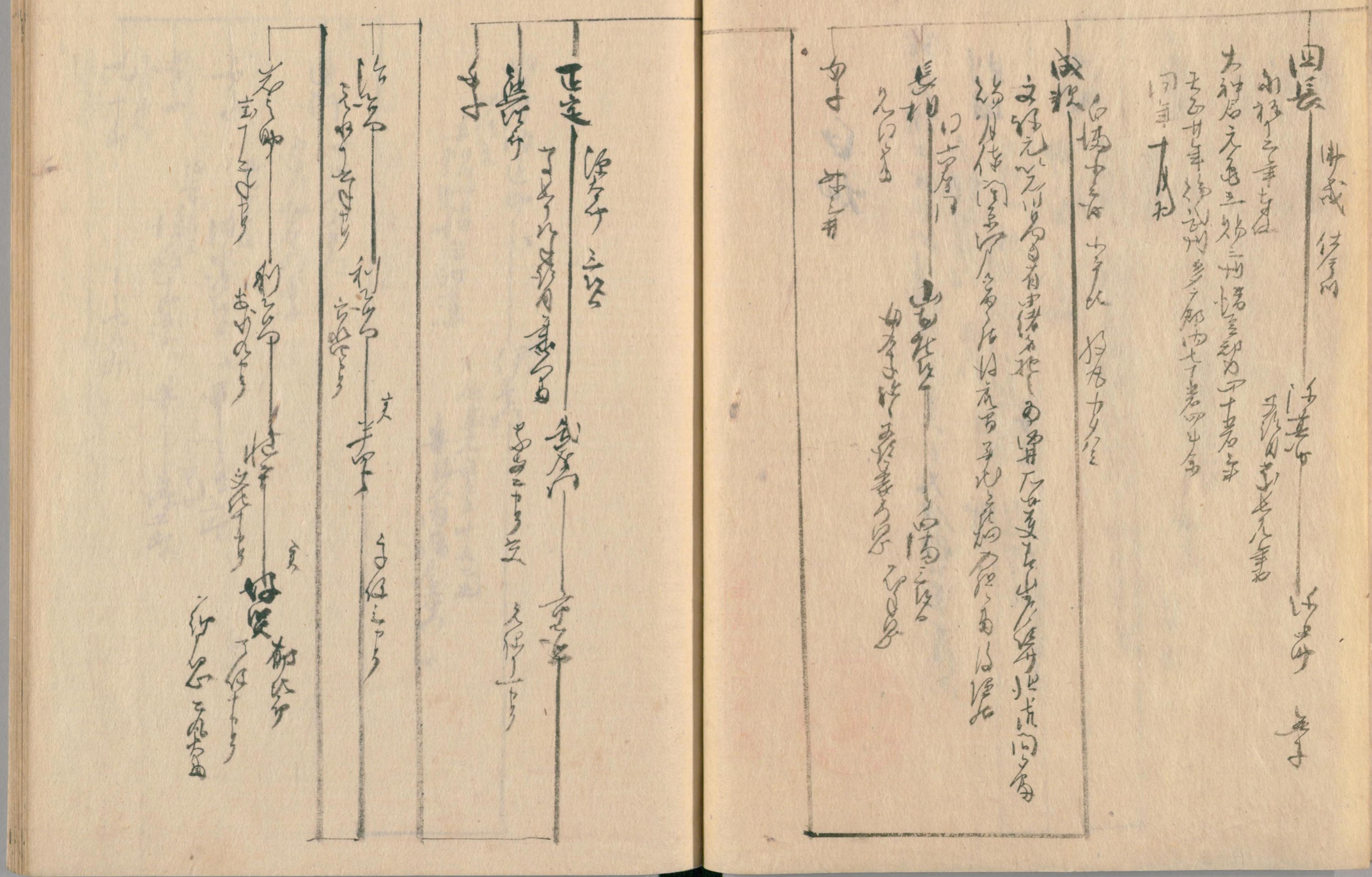


根岸信輔氏寄贈

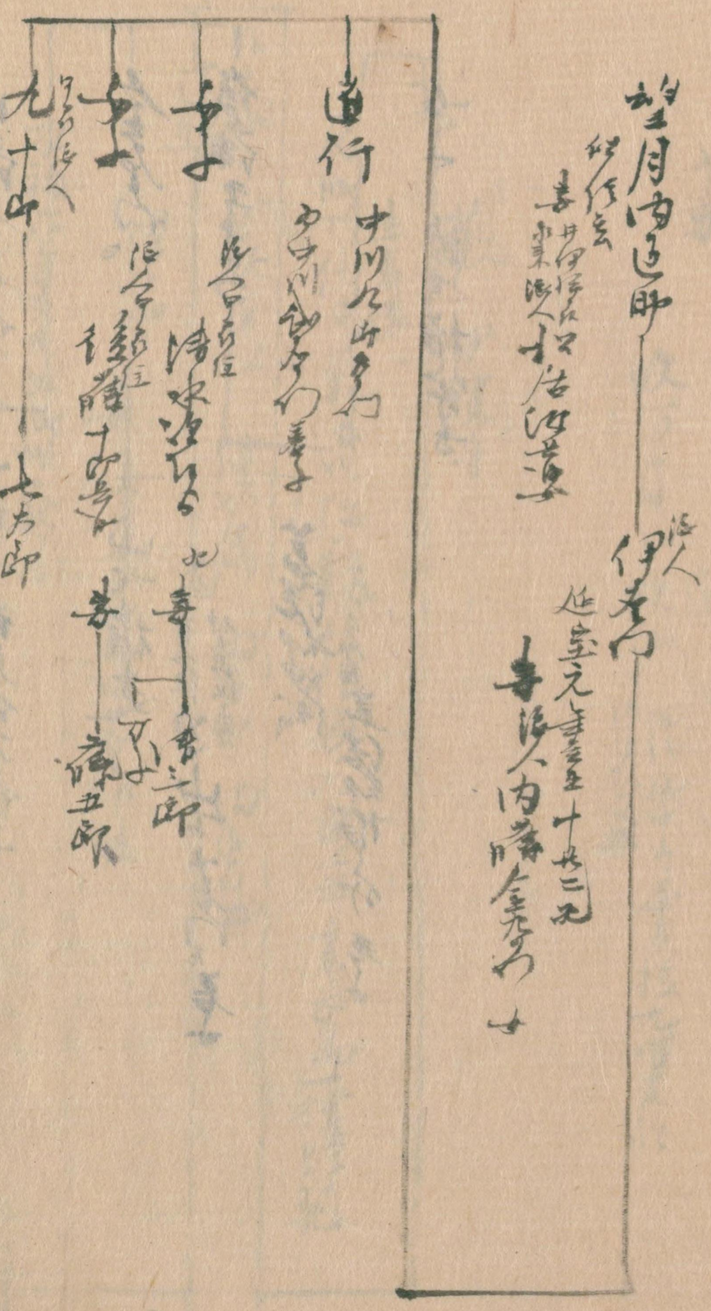
昭和八・贈

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

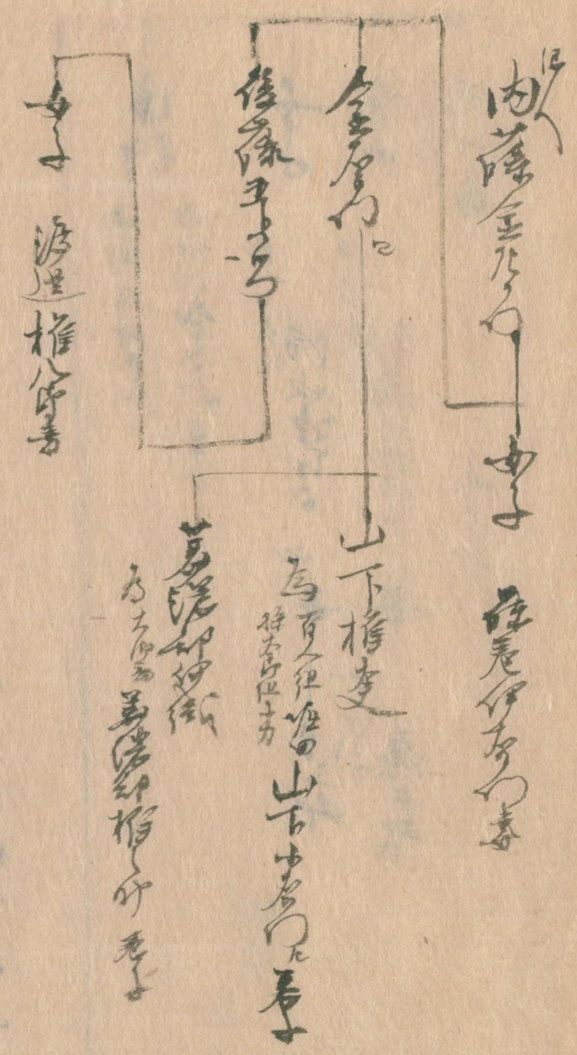


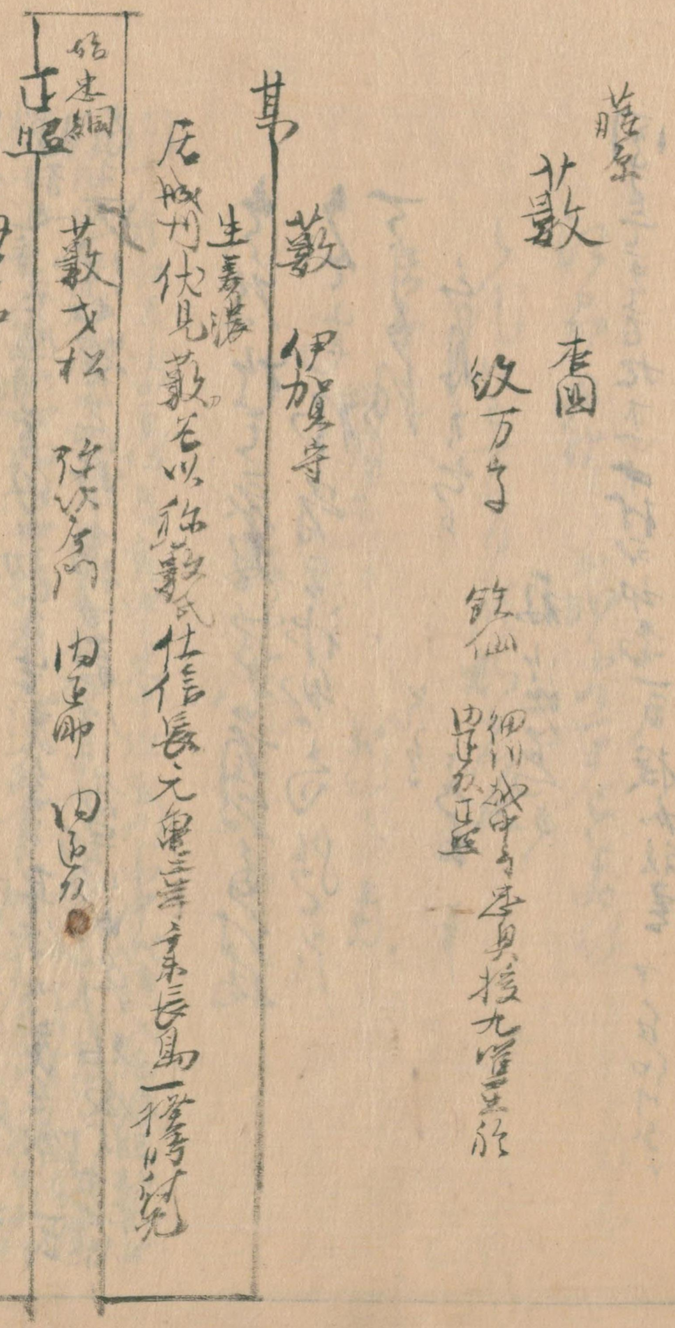
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

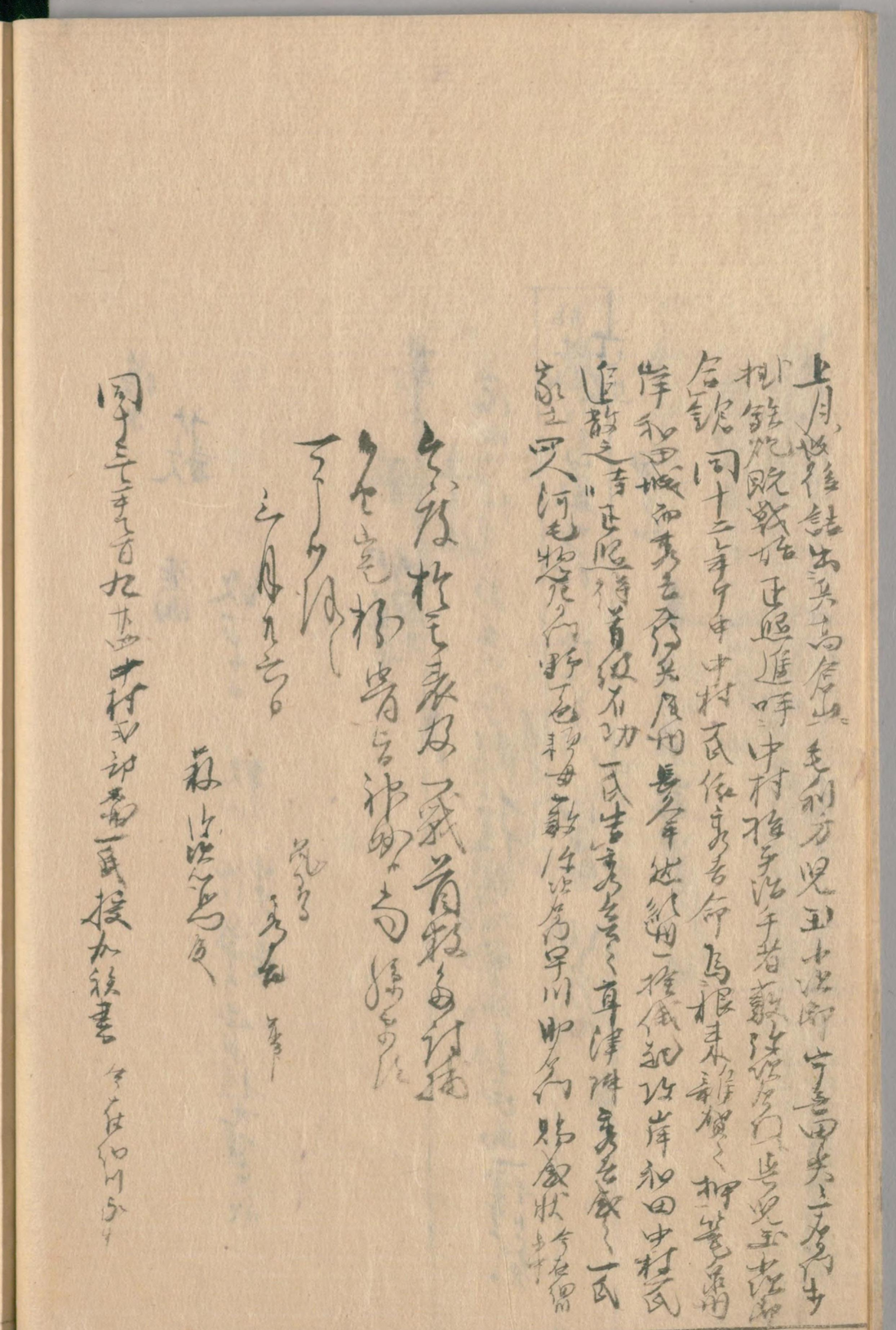


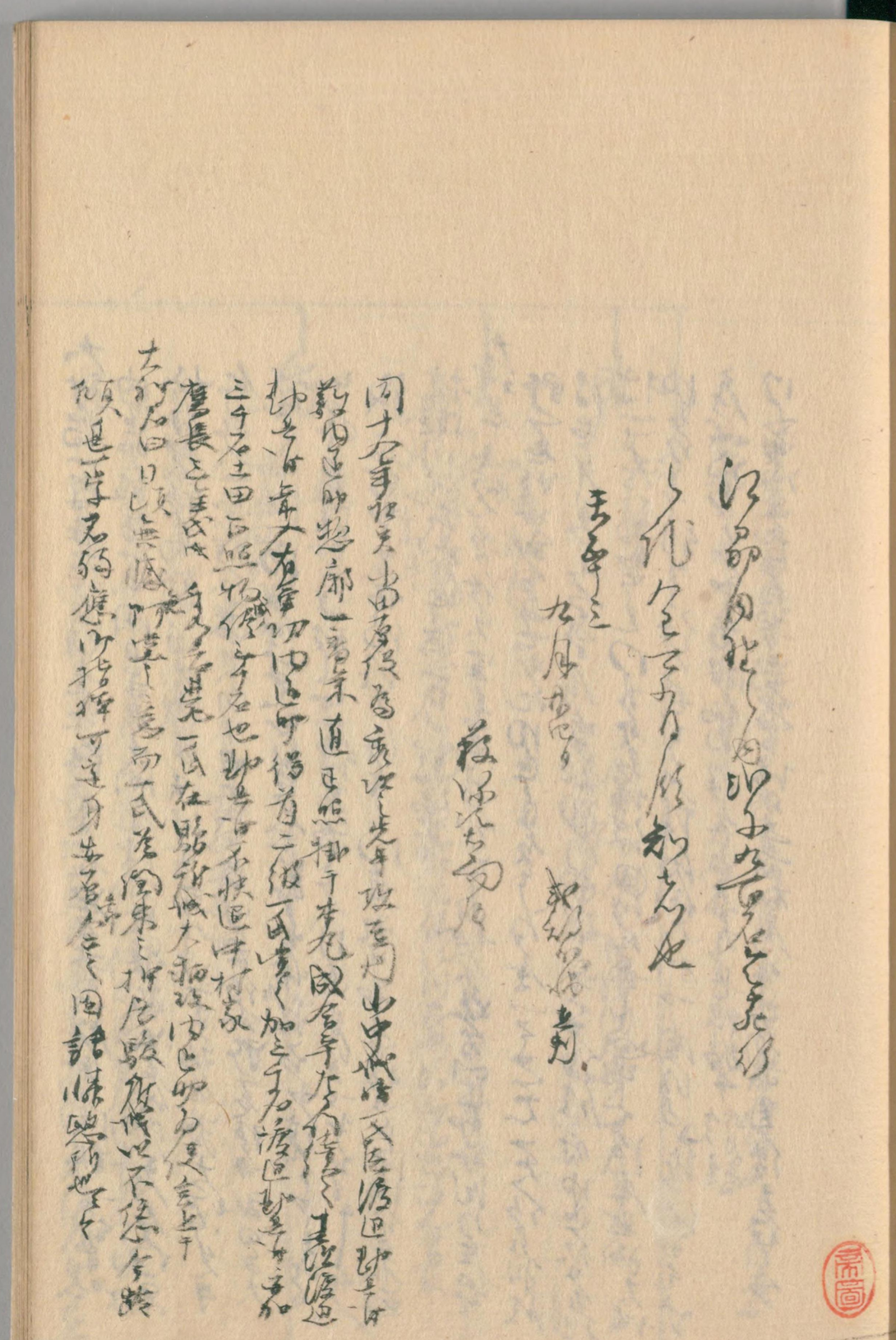
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用



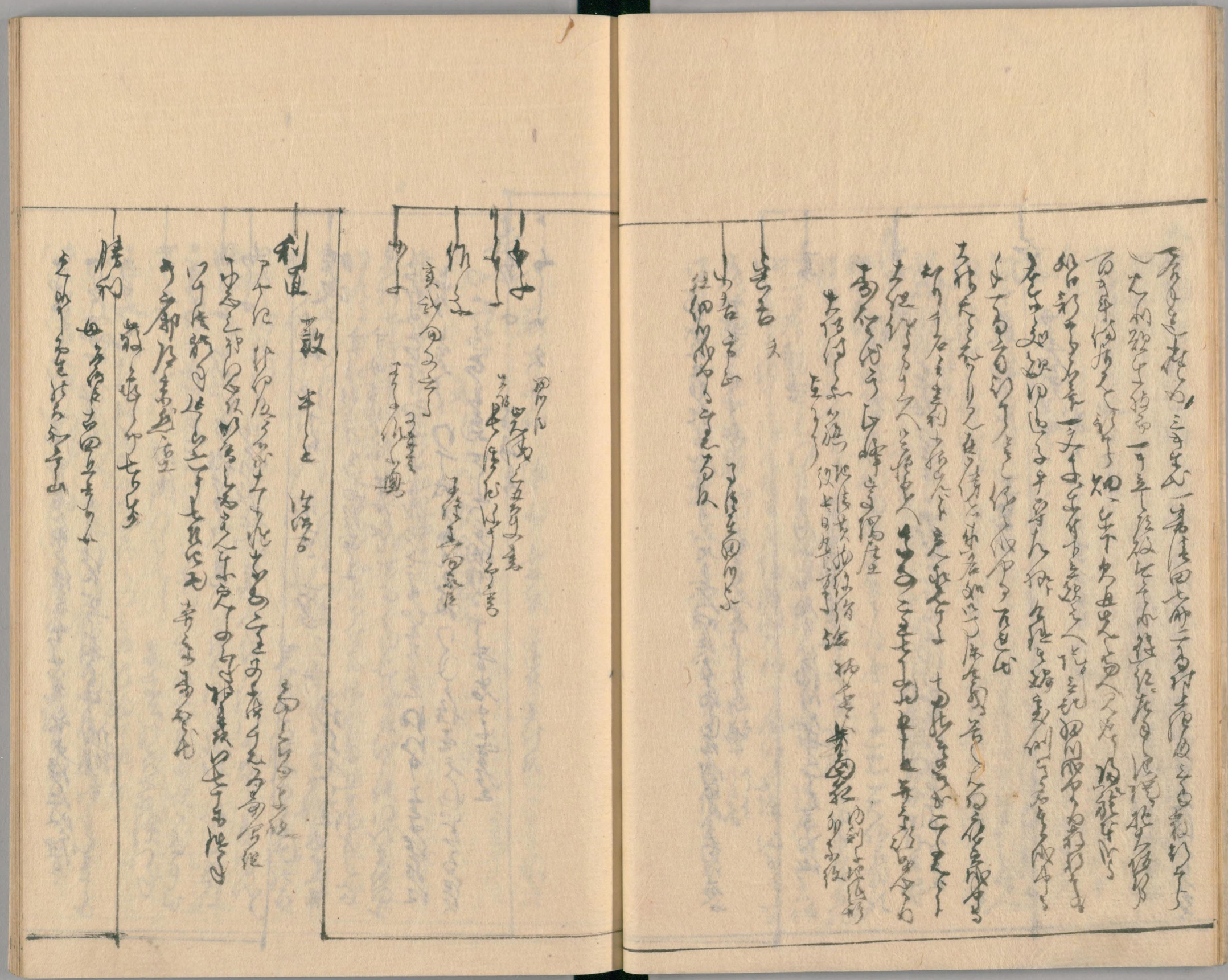






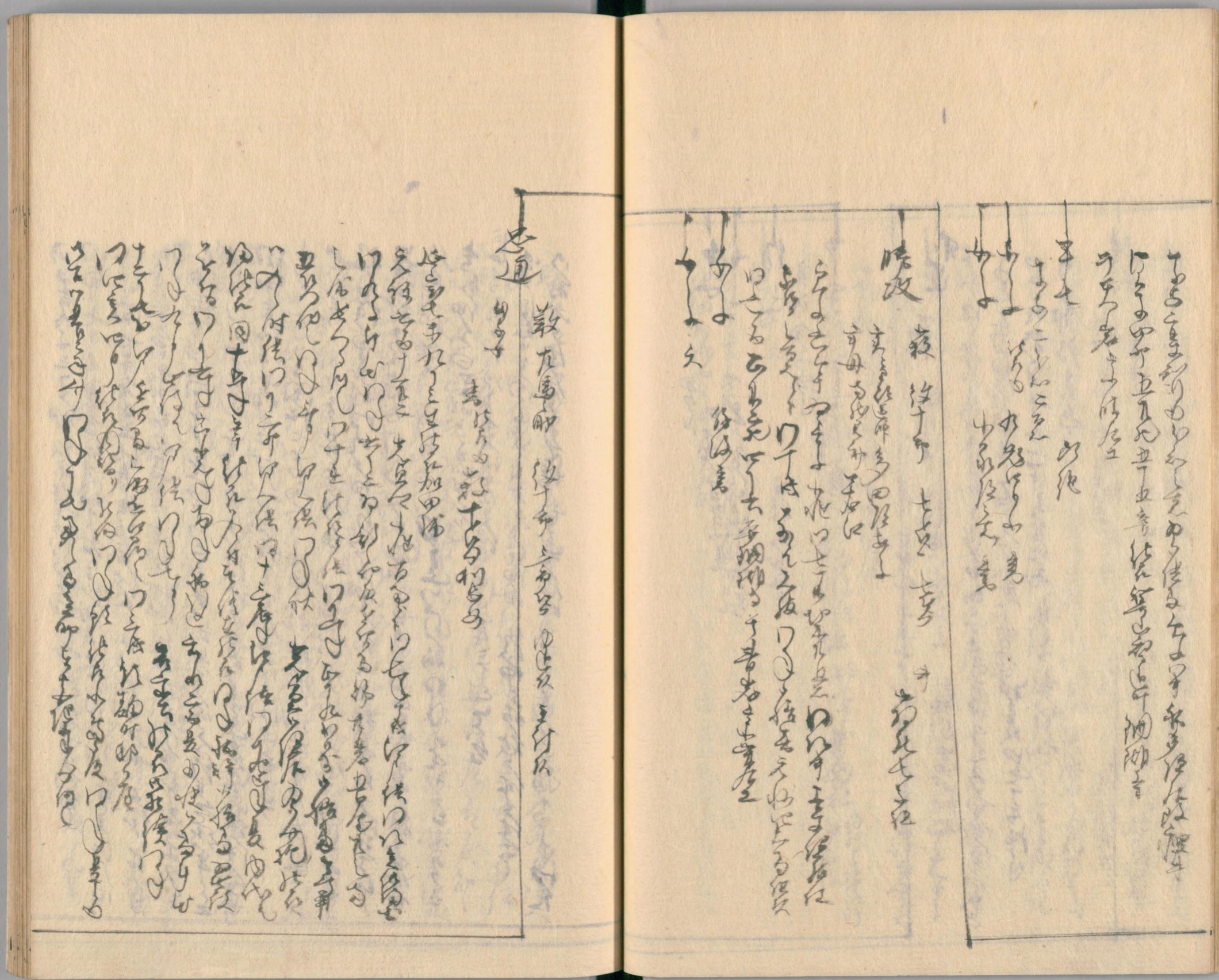
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

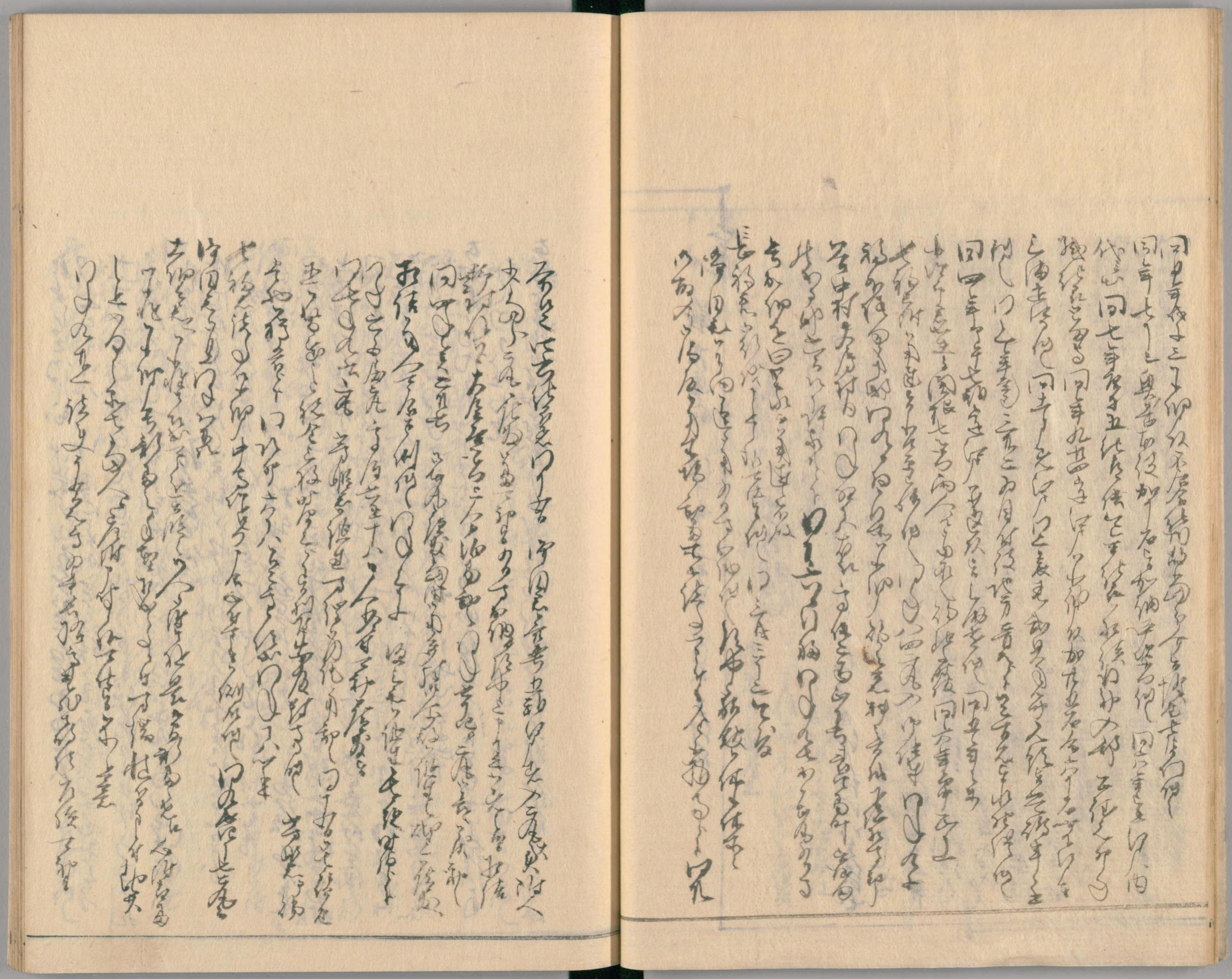


国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　ガラス使用

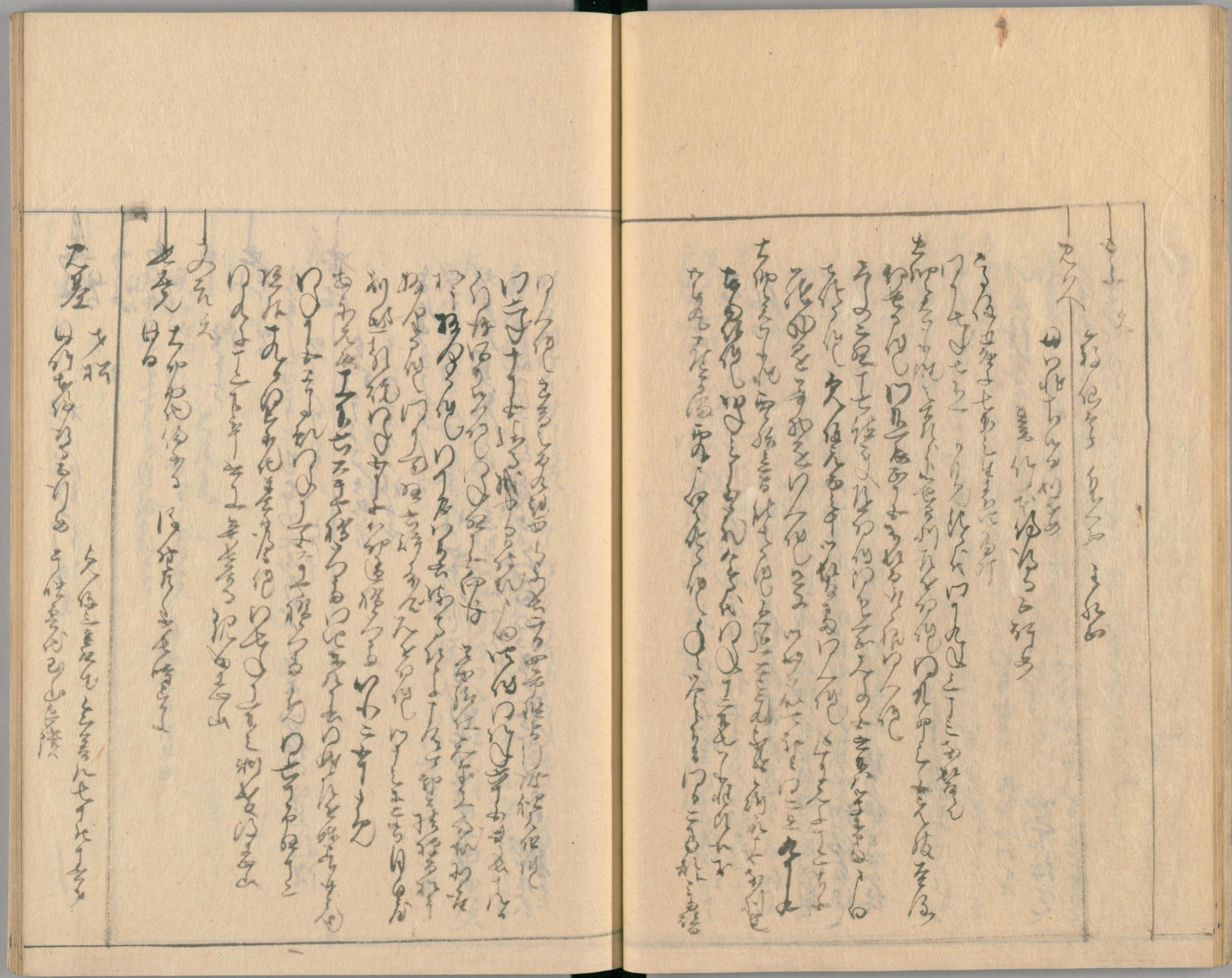


国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

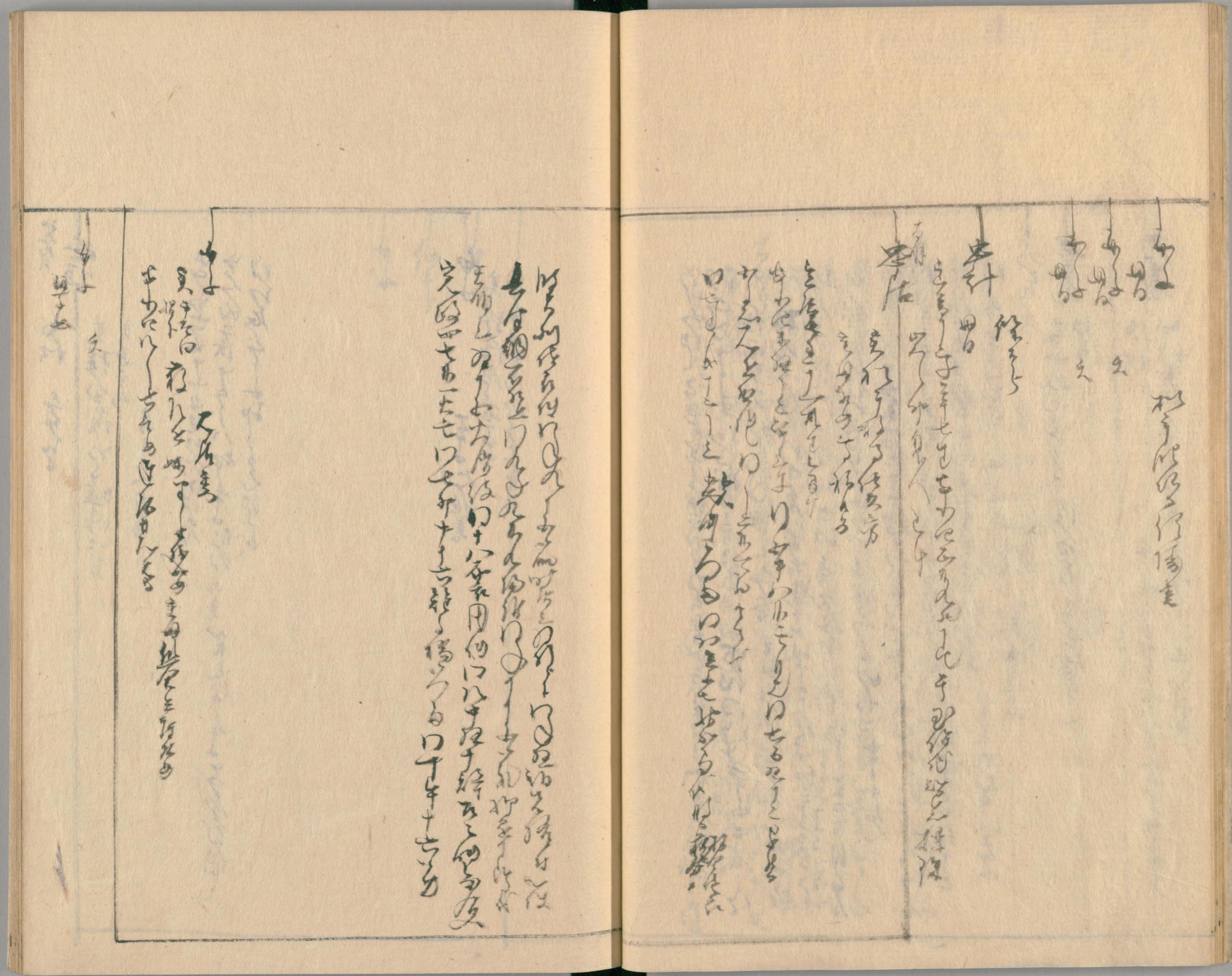
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

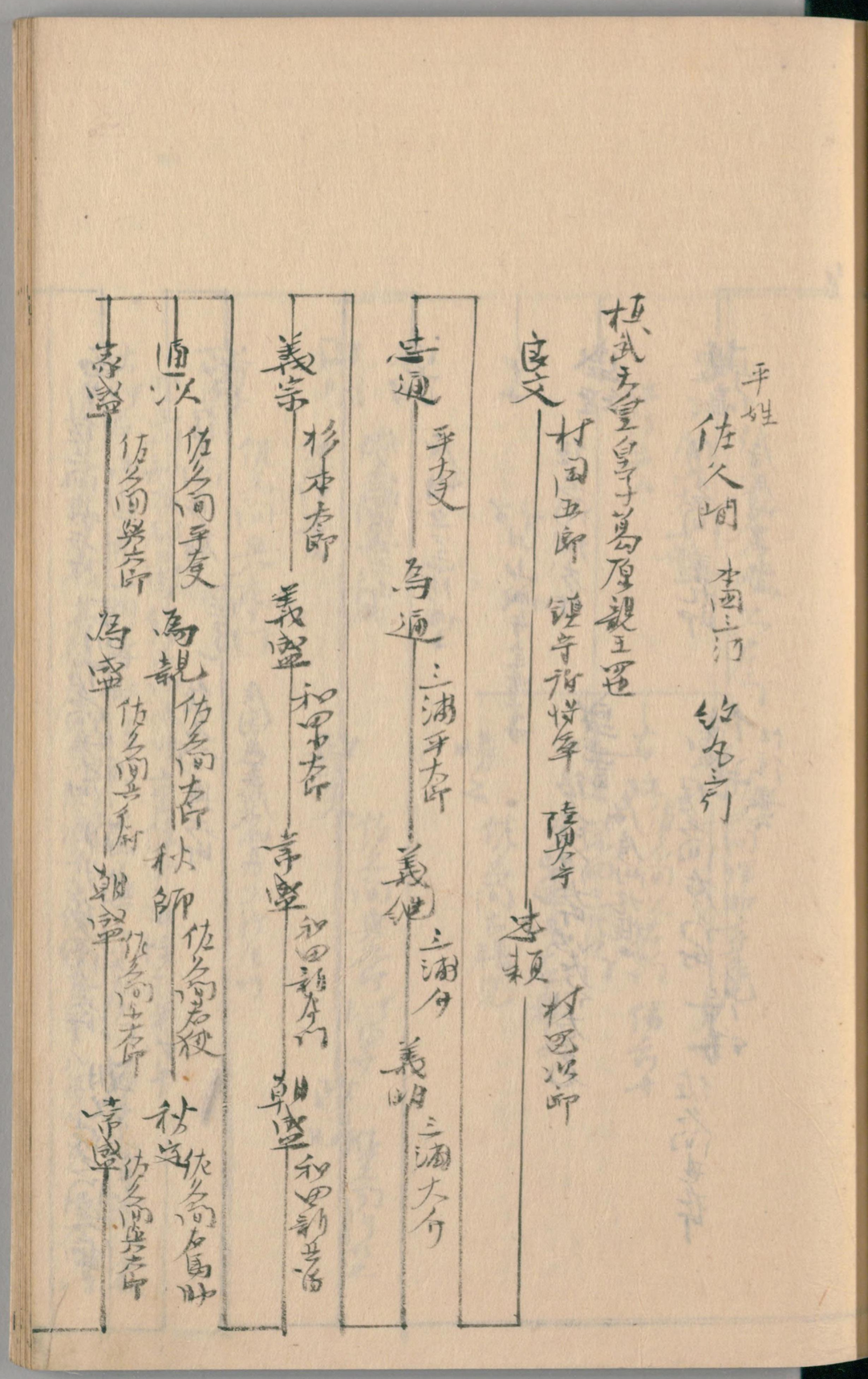
ガラス使用



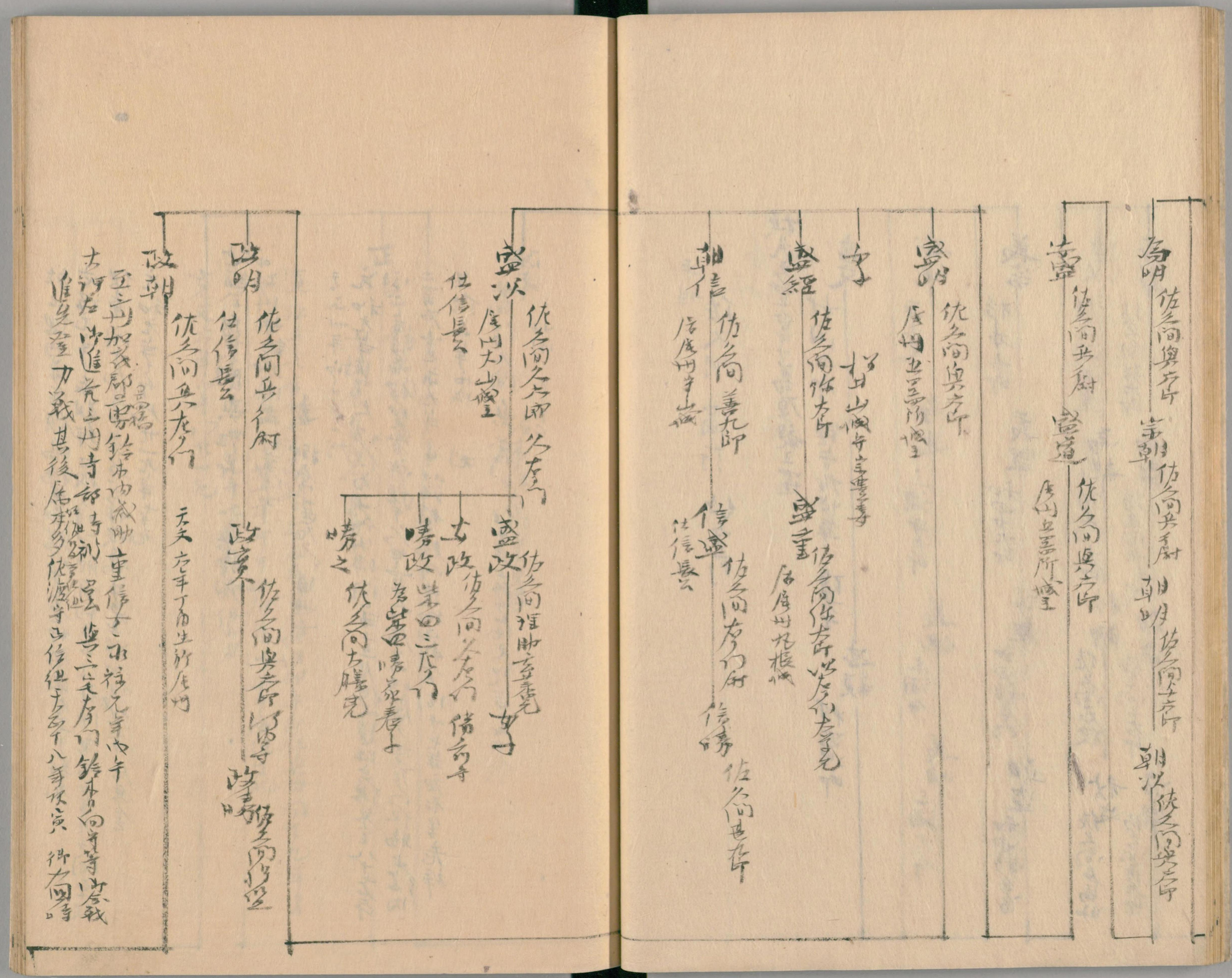
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用


朝明
佐々木兵庫
朝明
佐々木兵庫
朝明
佐々木兵庫

於上總州茂在領鳴橋邑而賜八十七石二斗為采邑七十騎元
文祿元年三月朝鮮征伐之時至肥前名護屋在陣慶長五年関原役
供奉同十九年甲寅為大坂役備本多上野介但馬守居城
元和元年乙卯九廿一歿年七十九

政能　佐久間兵九郎　兵九郎

母能本内藤四郎信女

妻　榊原甚左衛門道女

天正十年壬午生之出
元和元年乙卯大坂役之後出羽國七年己巳出羽國
三月石宣永九年壬申出羽國遠州勝間田郡遠州
正保三年丙戌　歿

政元　佐久間兵義　佐左衛門尉元政次男

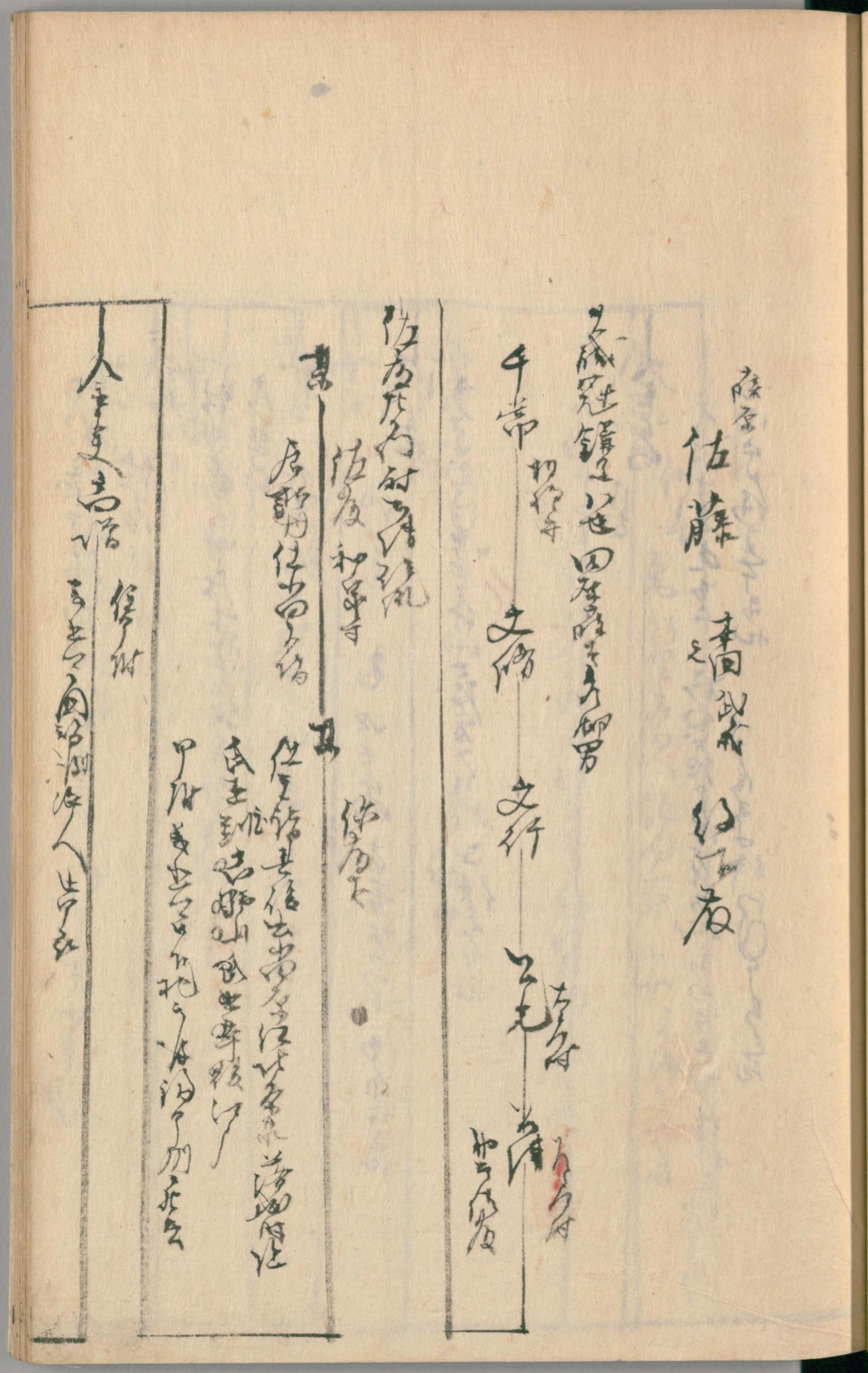
母　榊原甚左衛門道女

女子　母　能本藤左衛門重良妻

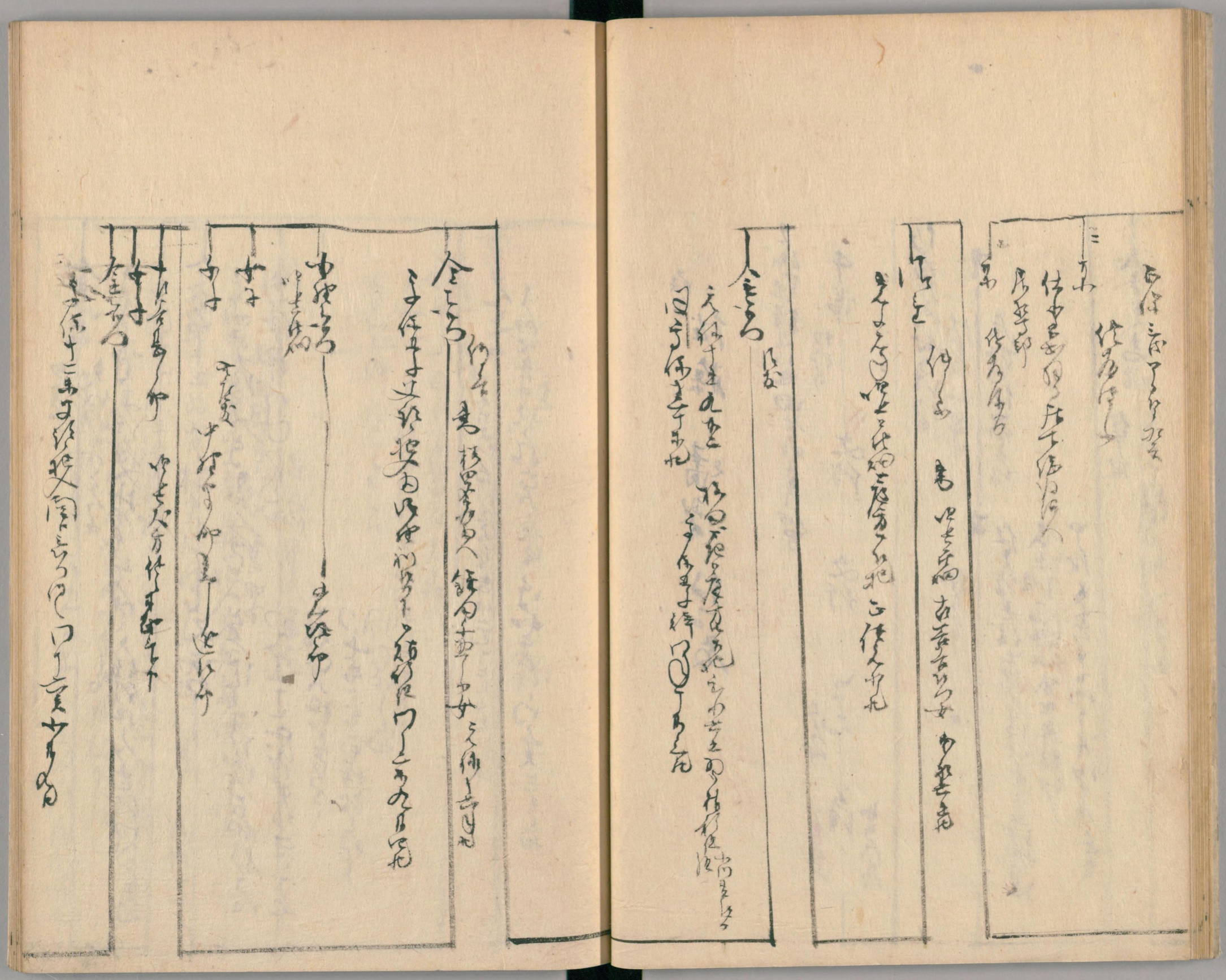
正信　佐久間喜左衛門

母　榊原甚左衛門道女

寛永十七年庚辰之春暫之石為百俵組頭手附役
江州坂本城在番同廿一年甲申年附為小姓手居役
正保二年乙酉為伊先年代番新番役
寛文六年丙午年　歿

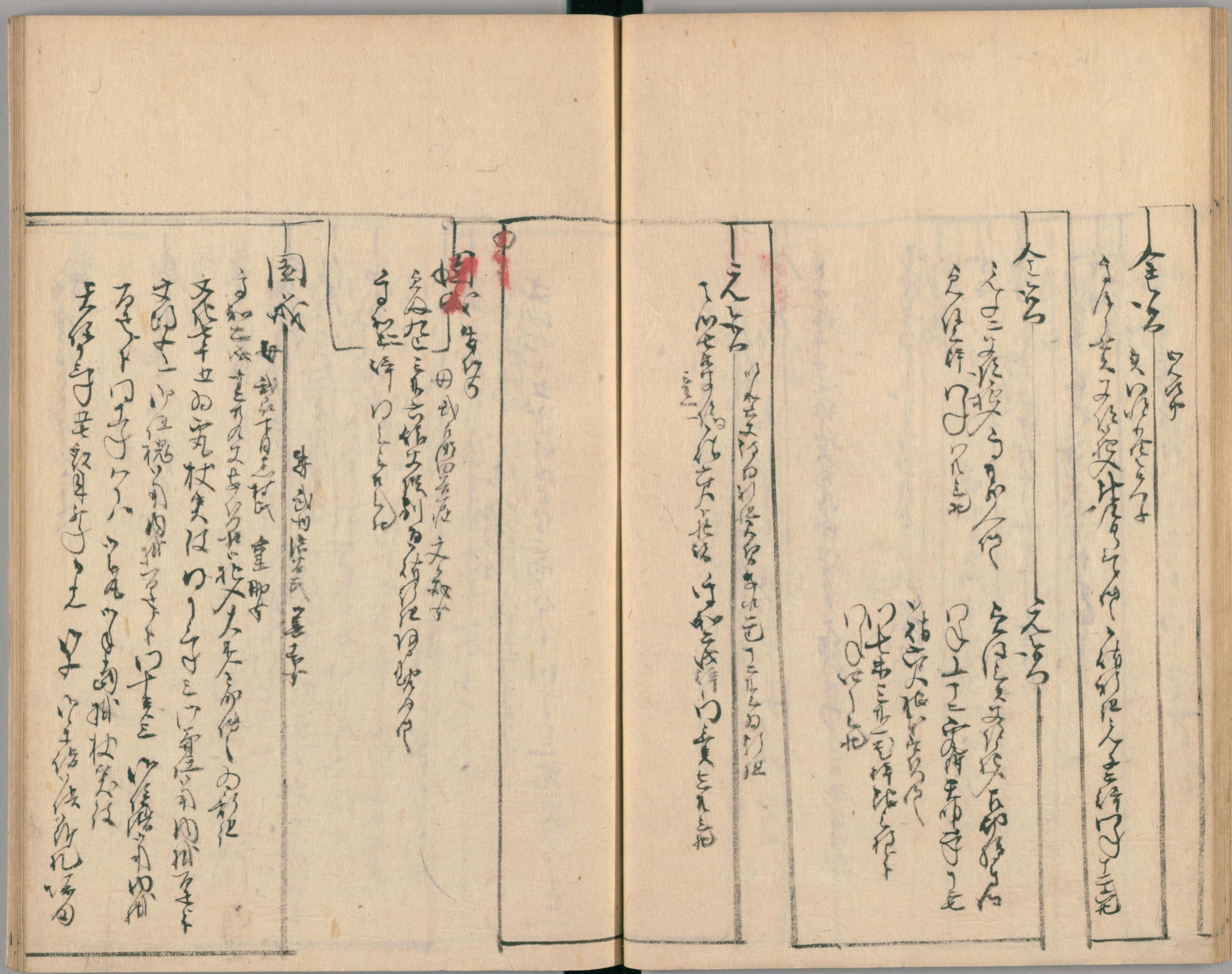


国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

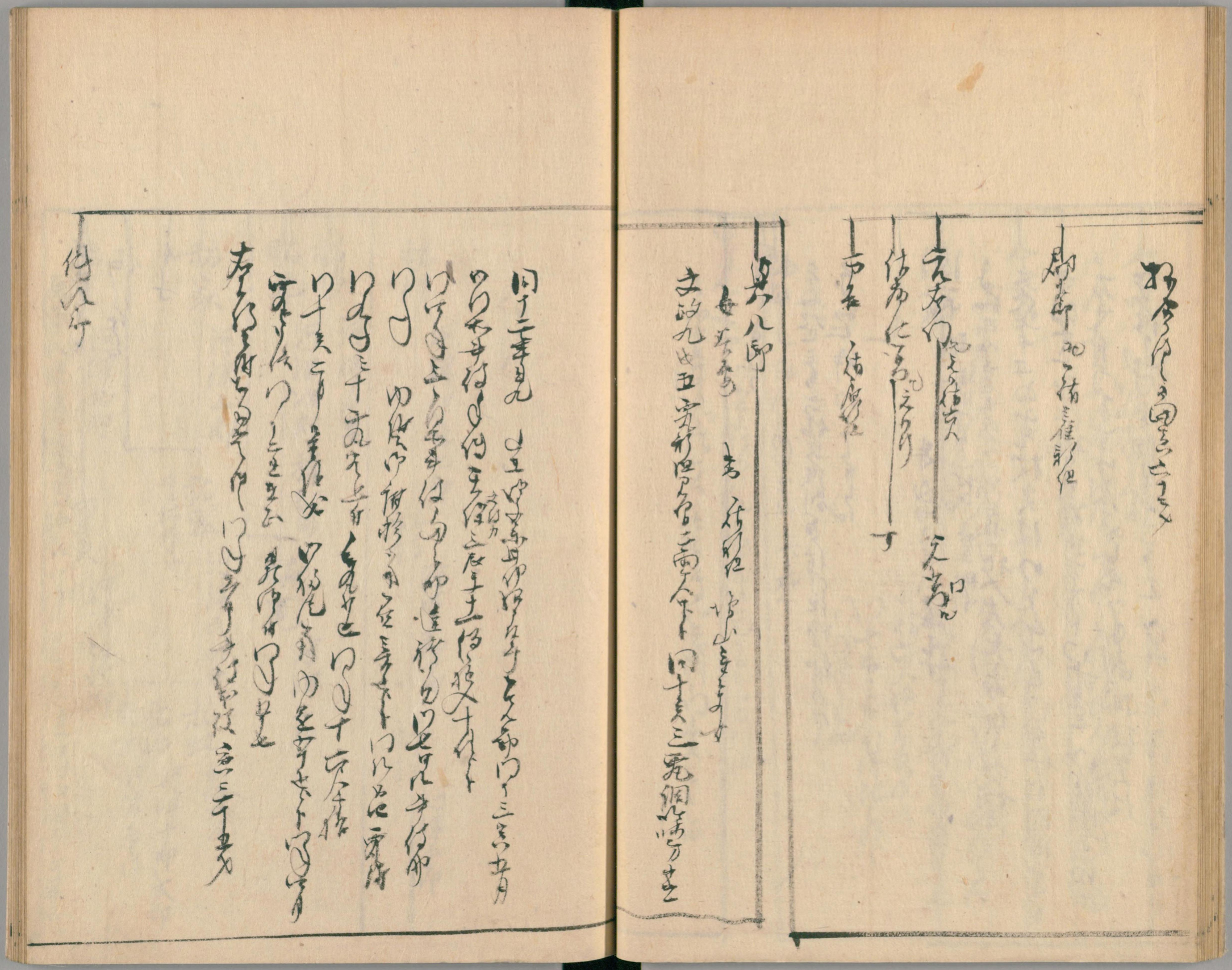


国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

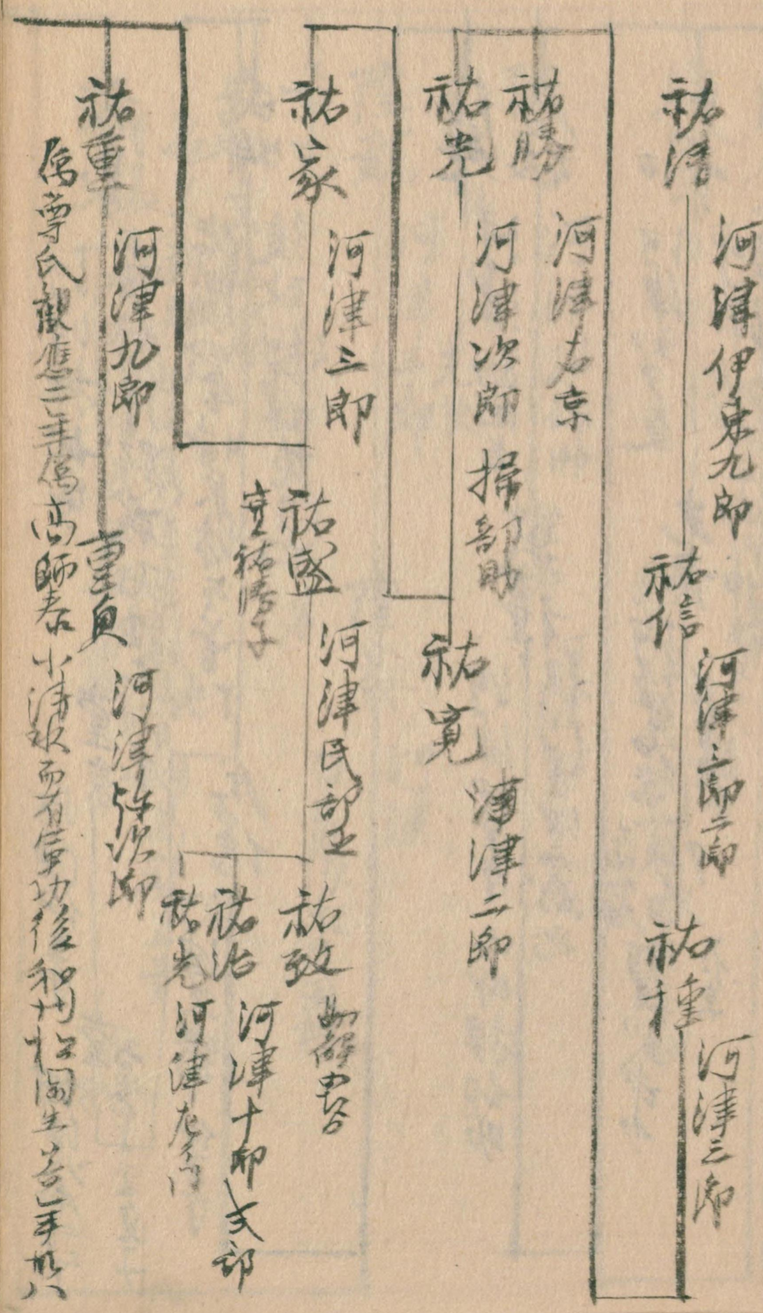
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

種家　河津掃部助
諸国巡行野戦无法右衛門
洛陽四条時宗坊ニ于番所
氏明　後改河津右衛門

重宗　河津伊豆守　河津八郎ニ下
重貞子

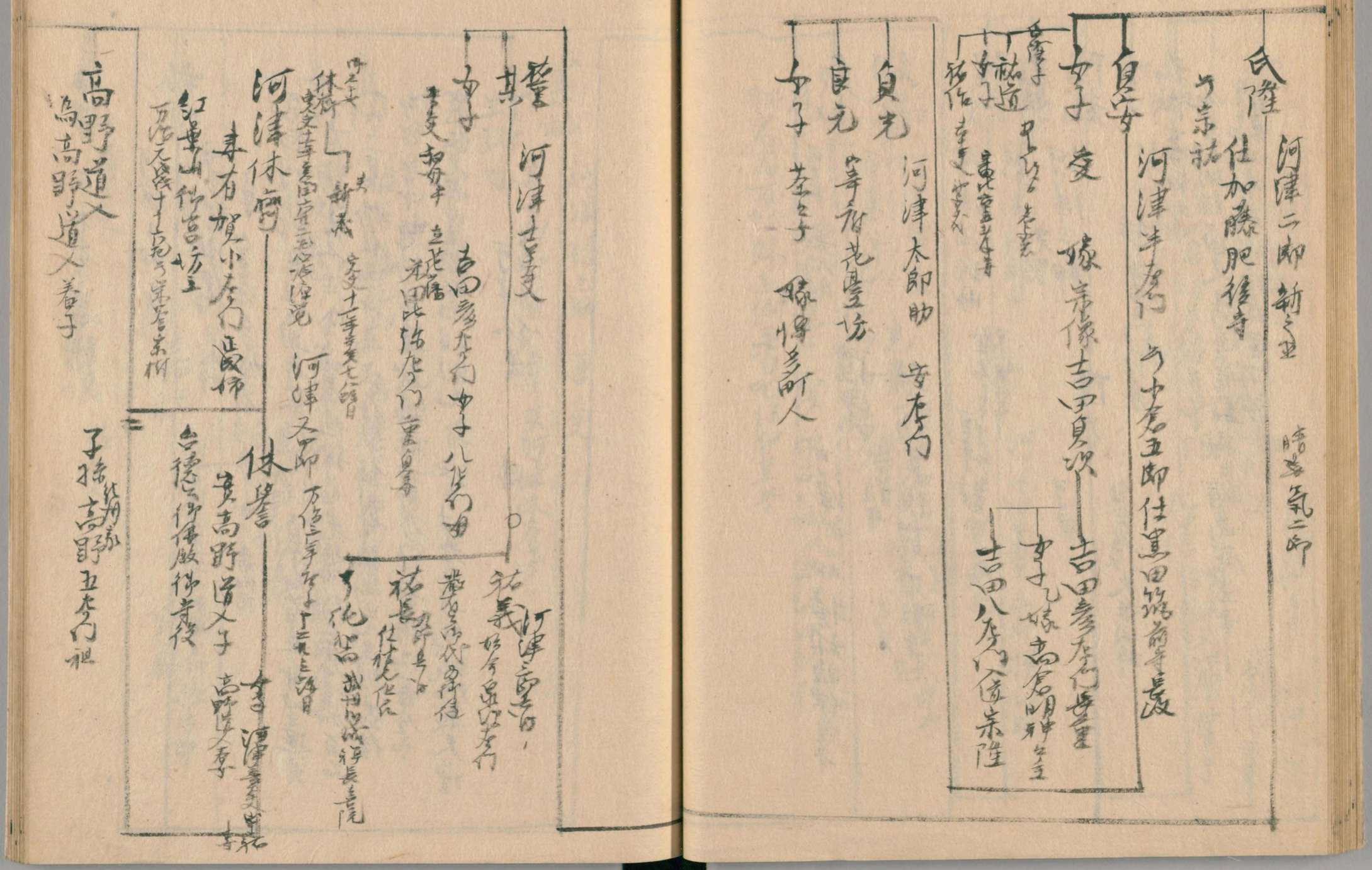
信孝
房祐　河津助郎右
光種　河津伊豆守　三郎掃部助
摂州住津西戦死

房信　河津又郎　伊豆守

光業　河津武蔵守
弘光　河津武蔵守　在京
光業　河津右京　南都
弘業　河津次郎三郎　伊豆守　僧侶寺
偽大内義興竜童十六人永正八年ニ未ダ四海陽
私ニ出而有功賜西御書所任伊豆守

貞光　河津與次郎
綱家　河津平八
隆業　河津新四郎　掃部助伊豆守
越後守
仕大内義隆賀冠有数軍功

隆光　河津掃部助　隆祐　河津新四郎
光敏　光良
隆載　河津三郎
隆家　河津
子子　杉平右衛門尉
景敏　玄蕃允
為日本朝鮮通交之使者賜馬大明萬歴皇帝
贈賜日本光禅師及金剛智法
在京像大昔司新



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

女子 久子 尊善院

祐智 河津十郎左衛門

母 賀茂清兵衛女 賀茂清兵衛女 寿仙院

居野村宇都宮住国年業作寺得百五十石有立身望退身
以有損少名仍正成々嘆等仕城前光通卿得之百石後加百石
凡三百石御在国中為大名数伍目付後為先武頭其後
御留守中悉御用達然海福寺御参詣御長屋御
寛文元年立国元相刺元弁法春寺可覚誠院義天理
寿

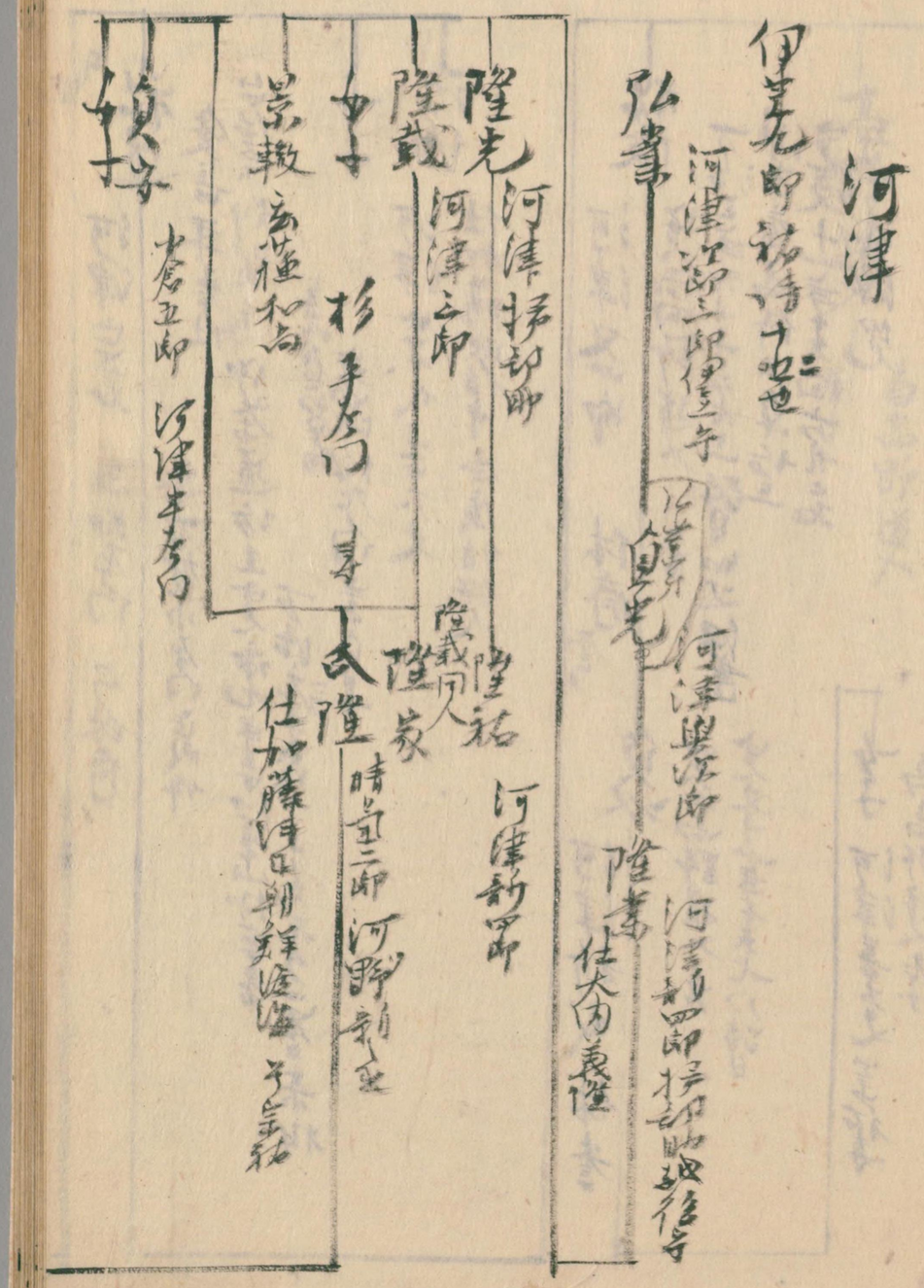
女子 河津休春

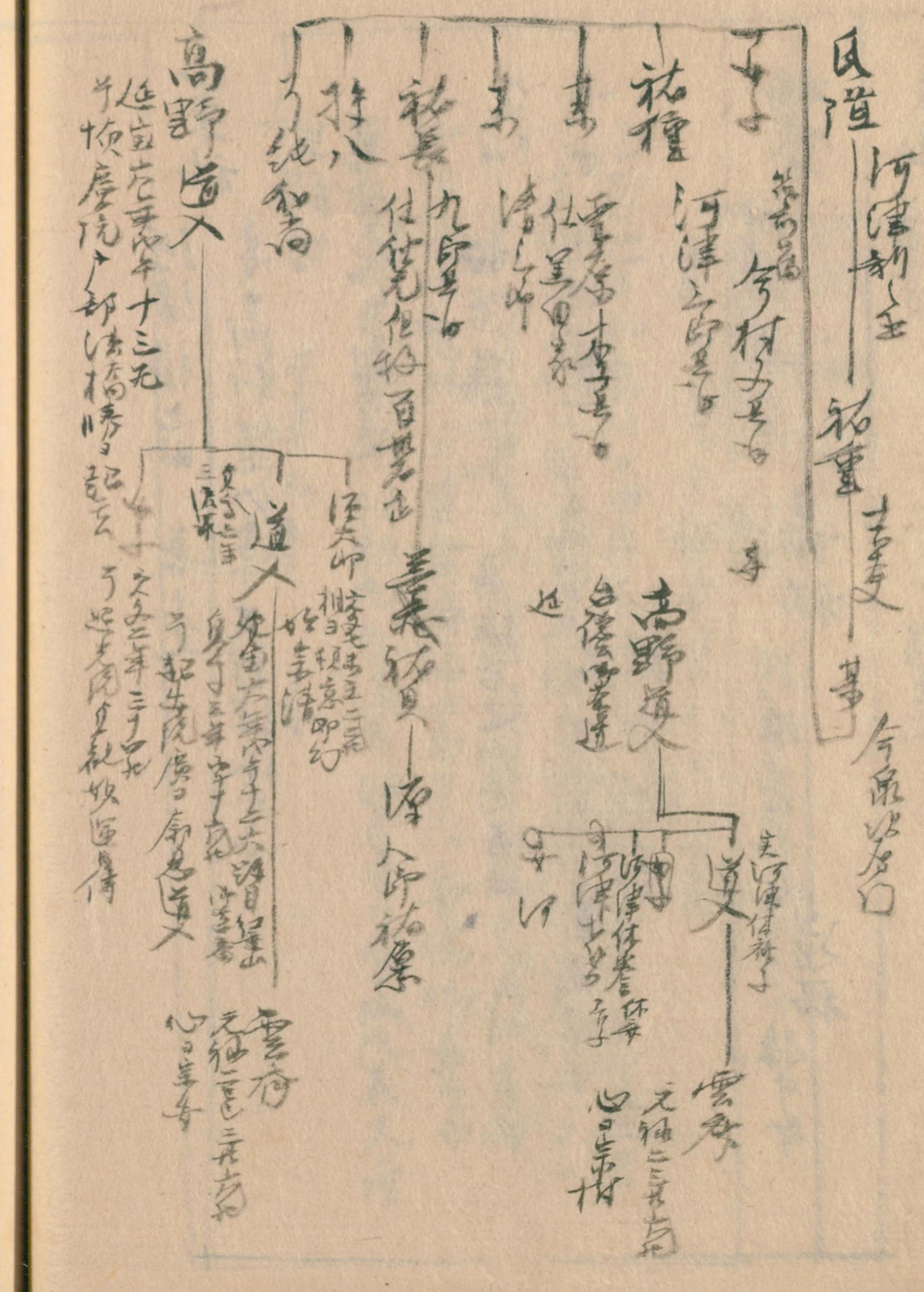
崇祐 河津權之助 善交
寿高野道人養子実河津休春子
生野村
先通居石百初召迄

直弘 塩谷藤九郎 為塩谷又右衛
女子 子姉長尼 大名法春 石川兵部少輔寺勇修千
板坂宗悦老

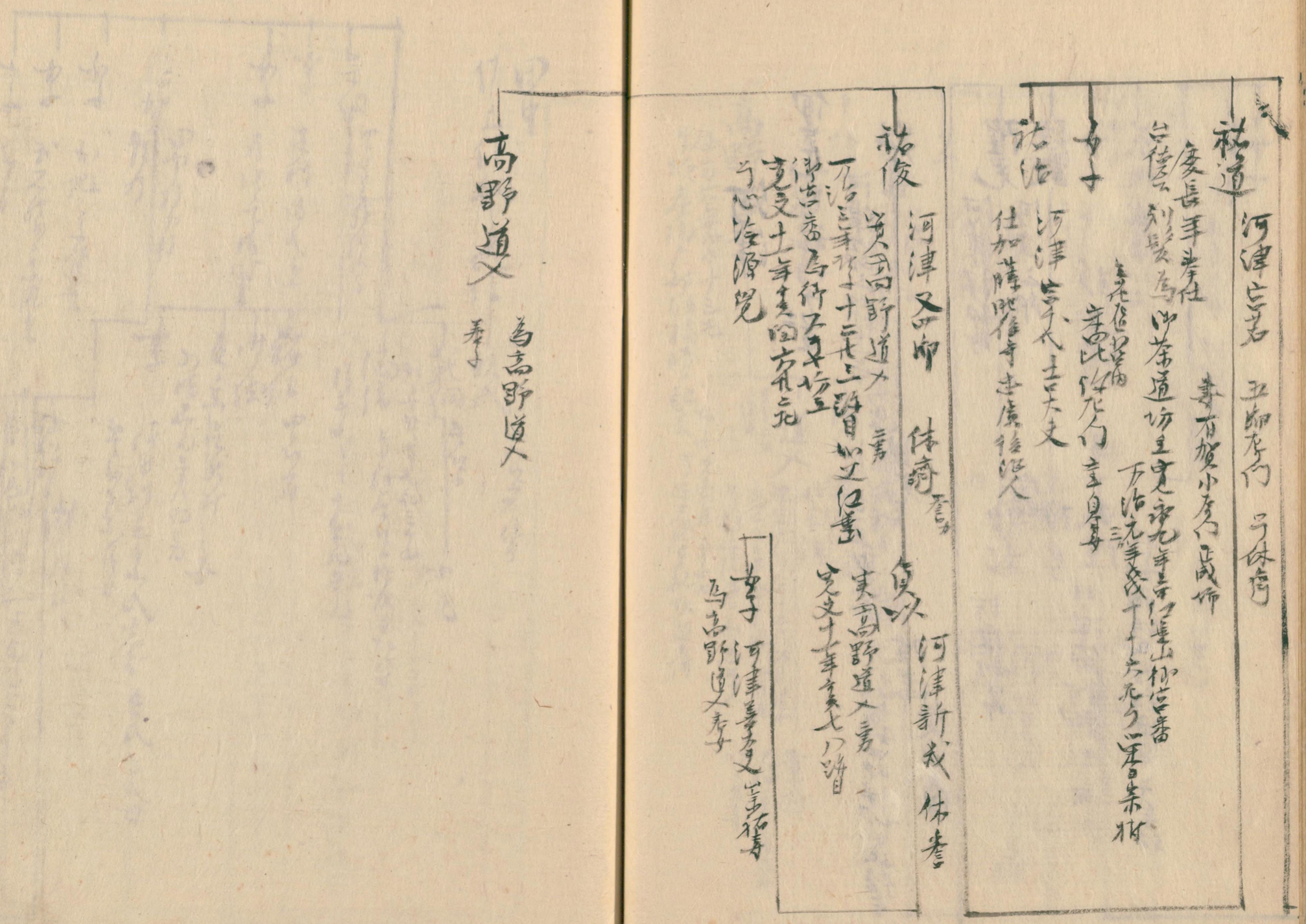
祐重 河津善交
嘉祐 河津茂大夫 道祐 孫十郎

祐縄 善交
祐順 佐交

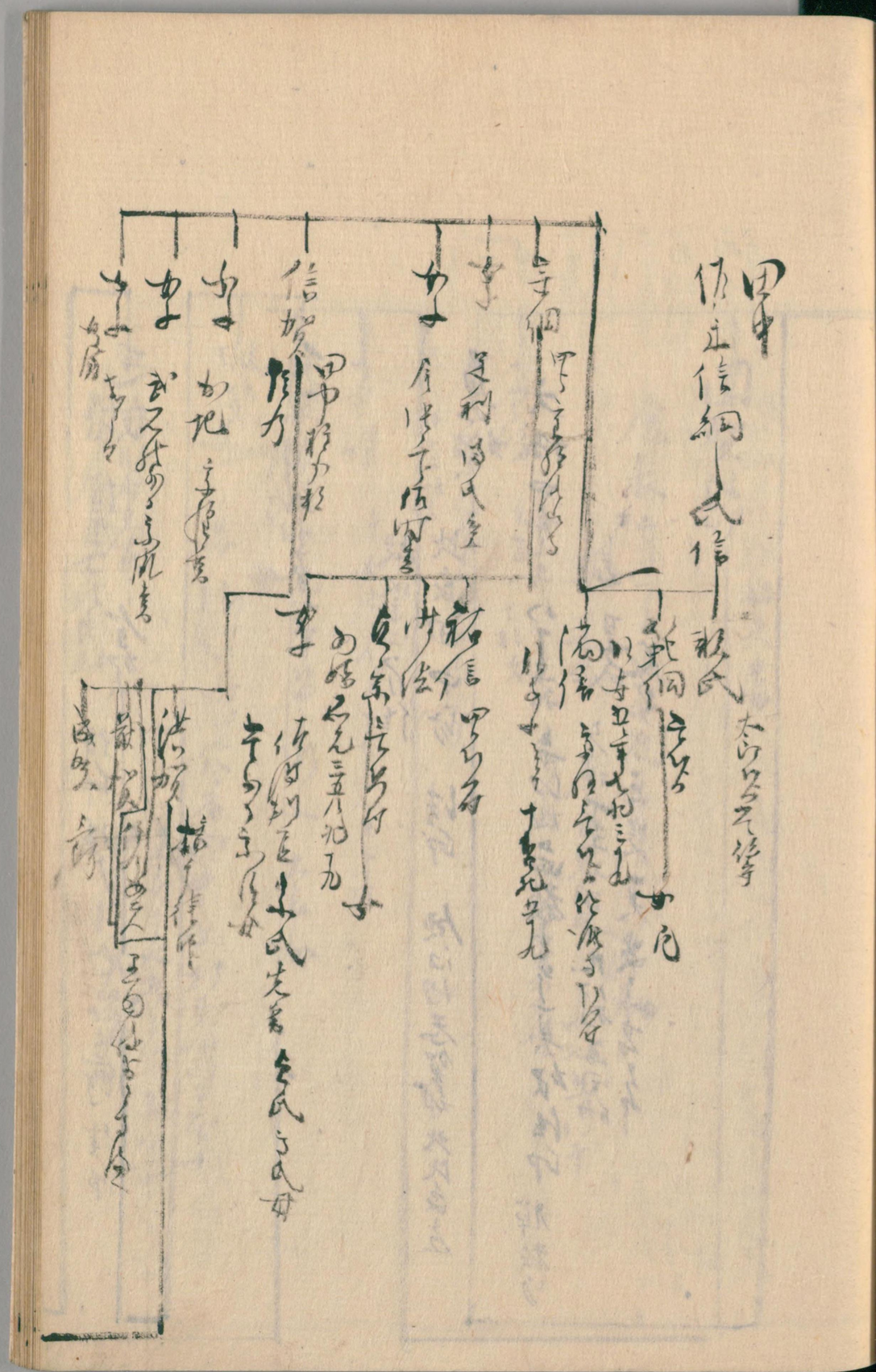




国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

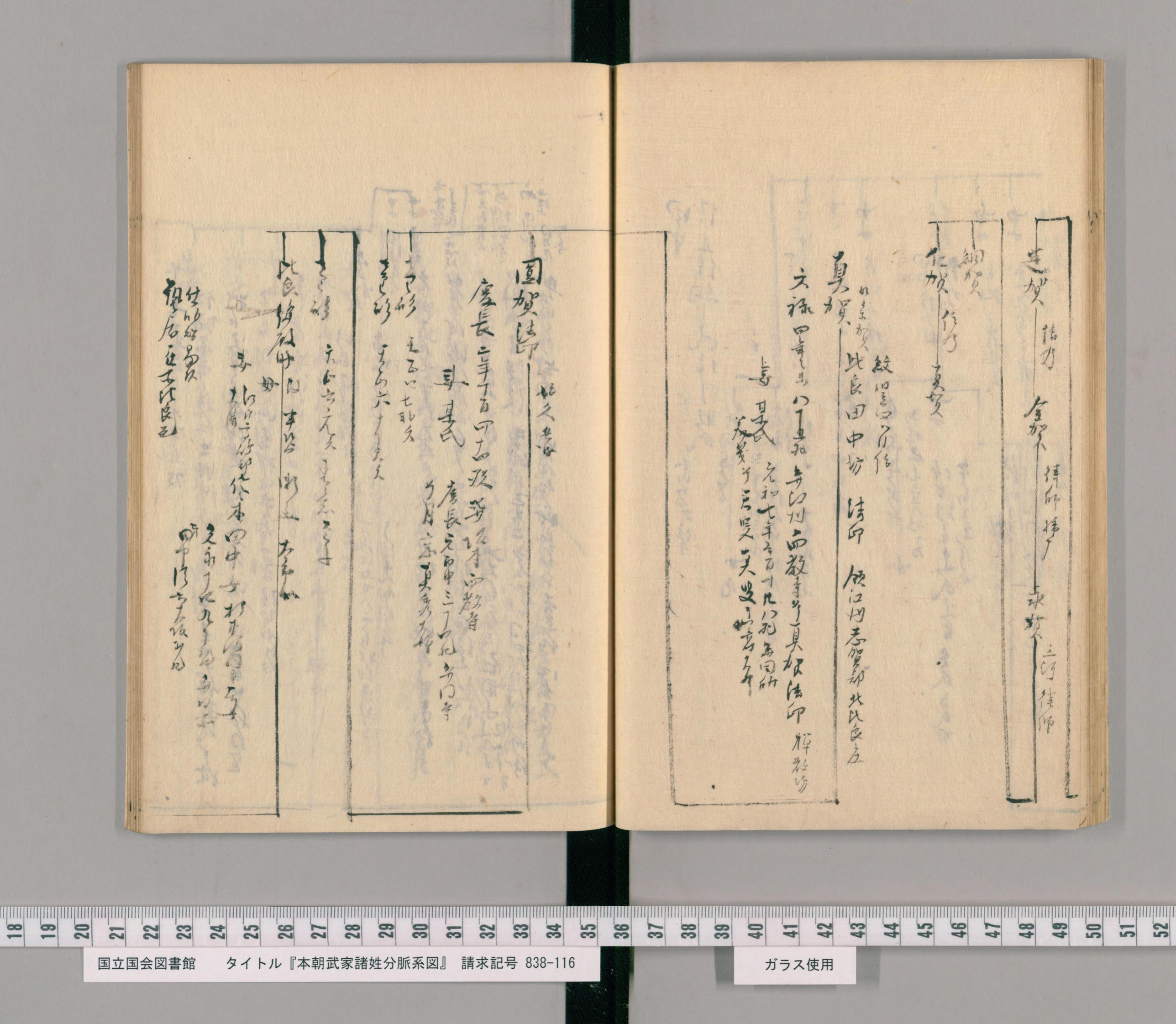


国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

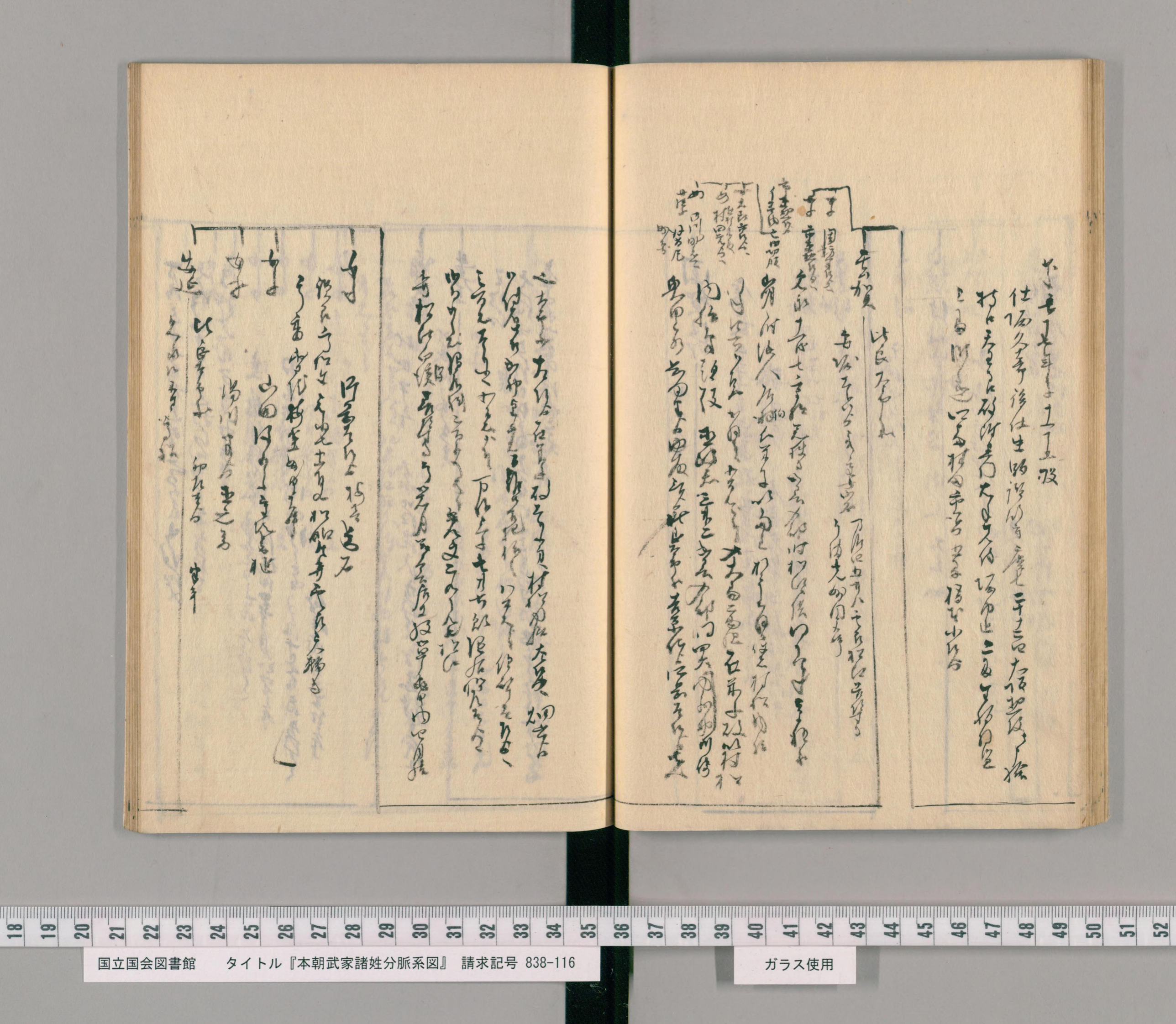


国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

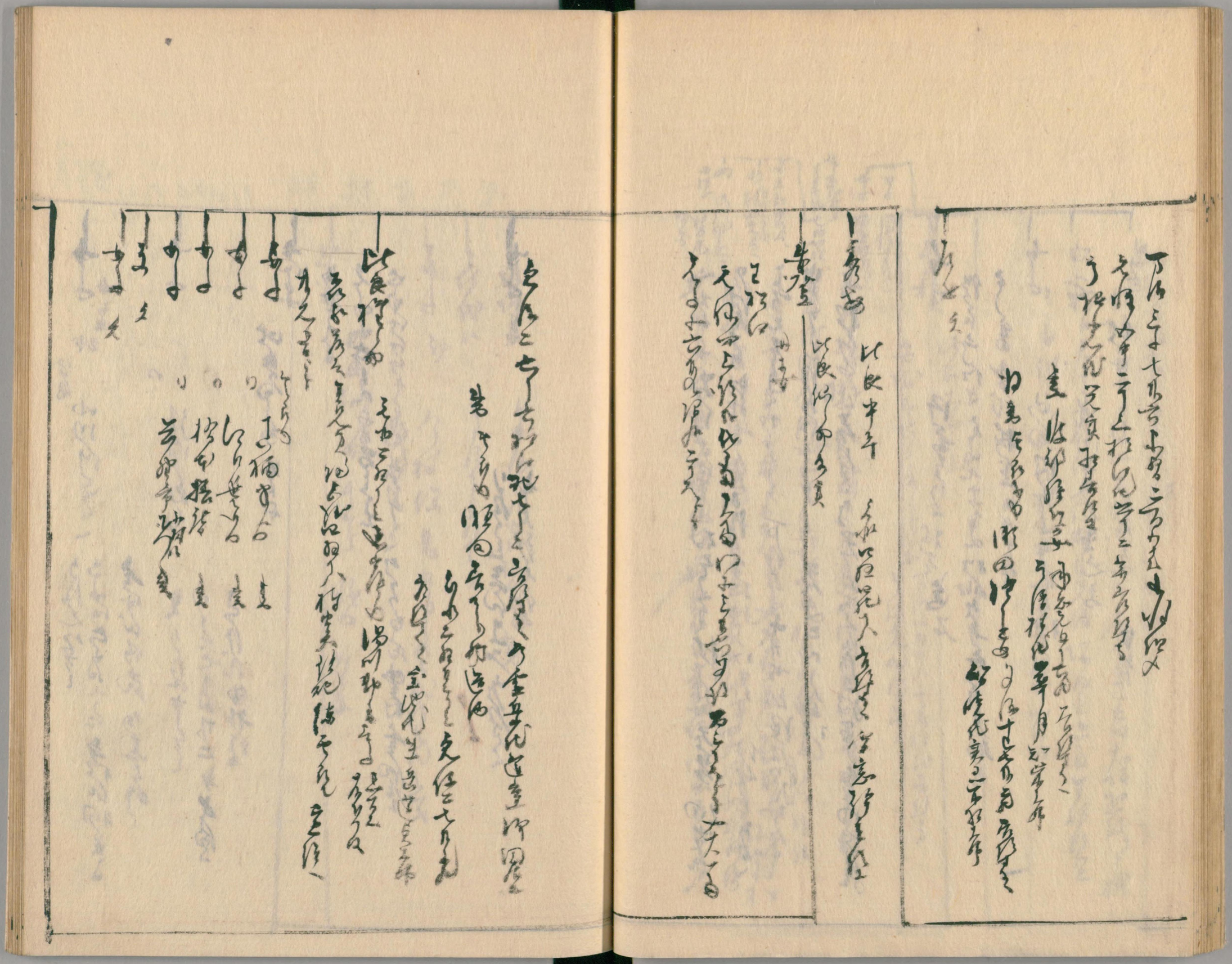
ガラス使用



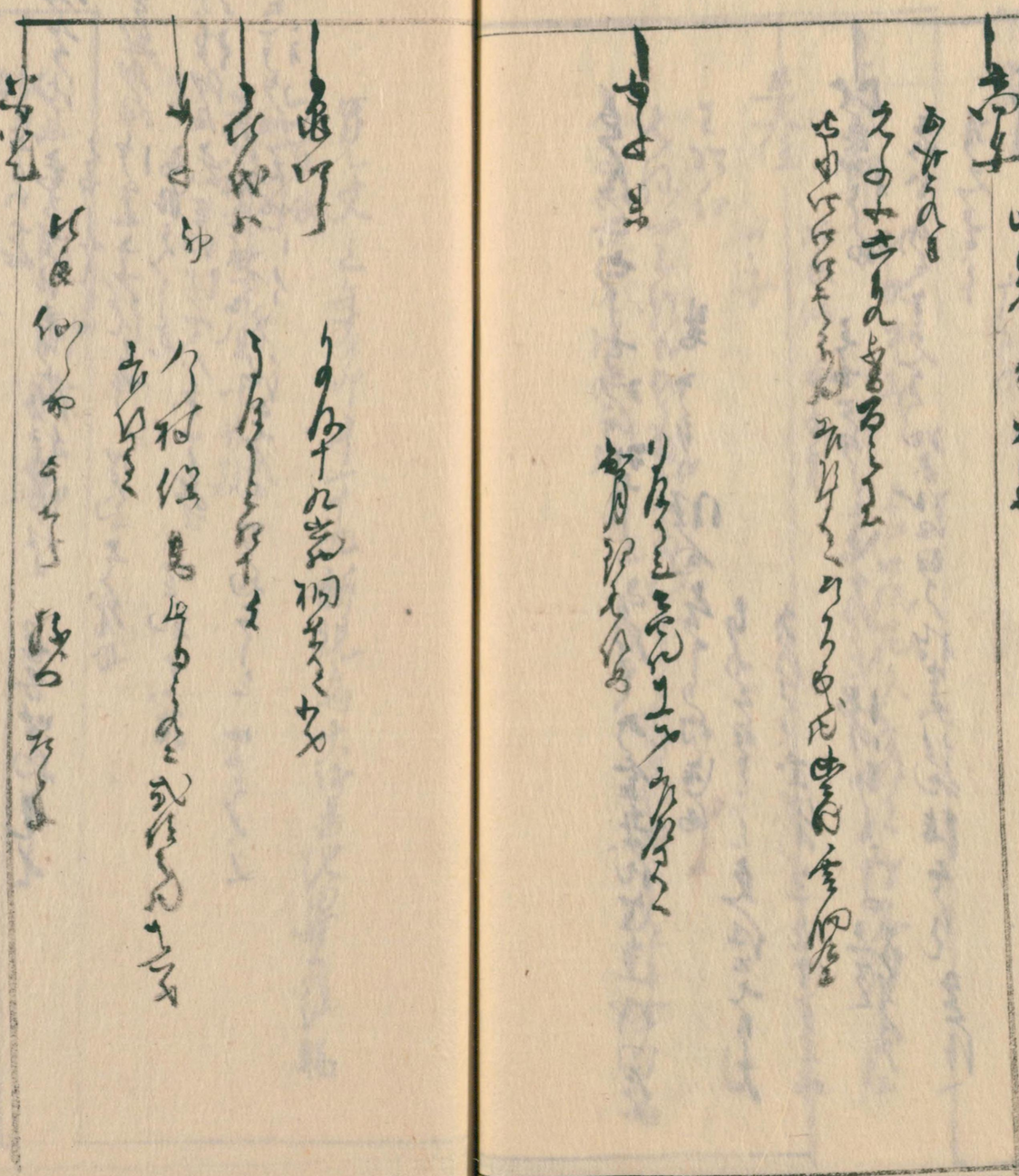
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



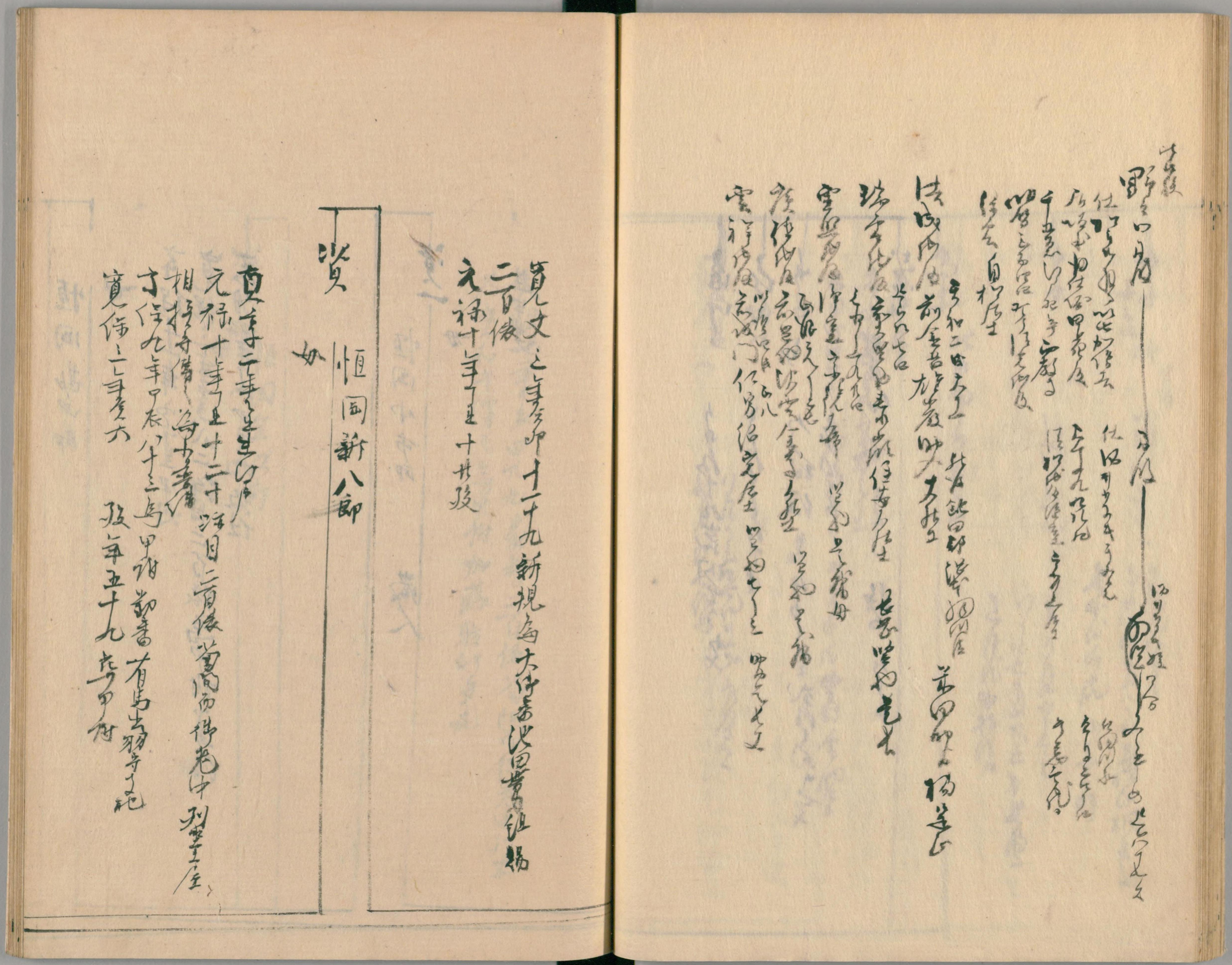
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

恒岡勘四郎

母

享保十一年丙午生甲辰

寛保元年辛酉八月二百俵為甲附小姓

天明四年辰四月廿九歳致仕

賞一　恒岡小市郎　藏人

母

生甲斐

天明四年辰四月九歳嘉二百俵菊間御老中列坐

久世和寺傳く為甲附加藤駿河守託

賞　恒岡金次郎

母

資直　恒岡推之丞　母

生没年
寛文　年　新規為大御番酒井伊予守組賜三百俵
天和二年壬戌九月十五歿年
于覺源道徹居士　葬松源寺

資継　恒岡　伊兵衛　母

天和二年壬戌十二月十六歿日二百俵為少者請
元禄二年度午正月九歿年
于酌外常機居士　葬松源寺

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

資房　恒岡源師
　　尚

明應二年壬申生歟
寛文十年庚寅五月六日卯刻
延宝七年己未閏六月六日
中根大隅守源時元
御菊
御菊
御菊

恒岡

女

生没

宝暦十年庚辰八月廿日五百年忌

為中書

明和八年辛卯十二月廿五日

于浄瑠璃寺

源義経

恒岡三五郎

源義衡

女

生没

明和九年壬辰

月日五百年忌為中書

恒岡長藏

女

生没

同年三十五為大御番依煩不出

寛政八年丙辰六十五為大御番小姓衆近江守使者

對馬守傳ゝ享和元年辛酉十月十日為新御番宣賀図書

組文化　年　　告病辞為中書

同十年癸酉七月廿六日没

文化十年癸酉七月六蔡相
五百五十石 [illegible] 初出 [illegible] 月 甘露寺の師 [illegible] 武州兒玉郡
[illegible] 外 [illegible] 地 [illegible] 月 甘露寺の師 [illegible] 同国
同宮崎の [illegible] 同一宮色 [illegible]

藤原姓
椿井 本国山城 紋 裏菊 葉蜀

正長 椿井喜右衛門 号梅菴
居京都

正次 椿井 推之助
生城州

度長 十六年 [illegible] 姫 [illegible] 仕
台徳公賜 [illegible] 四百俵 同十七年 [illegible] 付 [illegible] 駿河大納言忠長卿
依用 月 於 [illegible] 忠長卿 加秩四百石 凡賜 [illegible] 百石

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

寛永元年甲子加四百石凡賜千三百石為御小性組番頭
兼奥向同二年丙寅 忠長公上京従行馬廻衆
同九年壬申 忠長公御預ケ稲葉丹後守時預常州
桜岡同十四年丁丑 御赦免出戸居住第内隙志摩守
別邸同十五年戊寅二月廿六日年五十三 斎七石川無量院
号春清院殿覚岩宗国居士

女子
母 子 紀伊向

寛永七年庚午九廿八歿 斎無量院
号高徳院殿喜月知慶大姉

正興 内藤 丹後守
母 女
以 御遺言号内藤氏

寛永十一年甲戌生 常州桜岡

正安 椿井 喜之助
母

寛永十四年丁丑 御赦免賜五百石
寛文十年庚戌三七歿年 斎無量院
号長元院殿賀屋良慶居士

正 椿井 喜兵衛
母 女

康熙二年癸卯為御小性組

寛文十年庚戌七八歿自五百石為小姓組改喜之助
秋田淡路守組時元禄十六年癸未正月歿年 斎無量院
号芳山院殿成蓍道居士

元禄十六年癸未九廿九歿 斎高寺
号慈照院殿理義清智大姉

女子

政好　椿井數馬　書之助

母

生母

元禄十六年癸未三歳之頃目五百石菊間而御光伊勢元
但馬守傳々為出奉行備中守拾津守仕同年八十二歳目御暇
献銀馬代

延享元年甲子　舞無量院

与正教院殿但與義禅居士

安長　椿井藤之進

母深津

妻

宝永五年戊子七六生母

延享元年甲子　歳弾目五百石

宝暦六年丙子五五歳年四十九　寿無量院

与正勇院殿蓮義山居士

天明六年丙午九月一歳年八十二　寿

同寺　与正覚院殿量参寿貞大姉

子

母

某　椿井八之丞

母同

花村

妻

延享四年丁卯四月九天蓮同寺

与映雲院寶地清光禅尼

安篤　椿井百助　茂兵衛
寅
貢母

妻養又安長女

生江戸
宝暦六年四月
安永三年十月十七日　俸五百石為小普請
寛政十年丙午四十二歳　奉行書院番　太田駿河守組
于勝心院殿最誉浄安居士　寺岡寺

母　篤　養安篤妻

政光　椿井泰五郎　喜之助

寛政十年　俸五百石
為小普請
同
文化　年　為宛御書院番
　　苦病辞

政　椿井君次郎
母

文化十四年十五七月九家督ヲ為ス
五百石 無位高位 武力橘樹朝臣 四百六十余年
同都筑朝臣 世系不詳

藤原姓
[illegible] 本国

敏数兄内之頭右已

正

[illegible] 陸奥右衛門
仕 [illegible]

氏隆 [illegible] 陸奥右衛門
女子 川井盜物 信興妻
貢銭本人即名 也 女
[illegible] 義之妻

正

享保　年号　寛御近習番　賜二百俵後為御小姓
延享四年丁卯十十歳年　与赤坂
与浦海院殿瑞水同朝居士

正　　靱負　弥一郎　始傳次郎

妻　本田清兵衛　女　享保十七年子　八七俵

生没
延享四年丁卯十二　清目二百俵為筒井内蔵之助
寛延元年戊辰閏十九　寛御書院番宝暦元年家十二月六俵物頭
安永五年乙酉四月廿五　蒔田重
与正岳院殿徳雲同懐居士

清和源氏
恒岡　本岡相模　紋九曜　鏑矢

太田支流
名資孝　恒岡弾正忠　長門守
主相模

屬北條氏綱氏康氏政
領武州稲毛高田邑　三千貫　同江戸下総川五万一二十八貫百八十文
同菅西内中九　一貫二百文　同十辺内富塚　五百文　小見内養
安寺分　一貫文　柏橋高本方共十二貫　小向内廿七貫分
凡九十三貫二百廿十文
天正年　歿

資政　恒岡伯記

生相州

為北條氏政同十郎氏房天正十年廣相州為藤城
故轉居文禄元年長秀吉肥前名古屋役後行年詳
秀吉後年
大神宮慶長十五年廣五十歳

某　恒岡義作
仕佐竹氏道

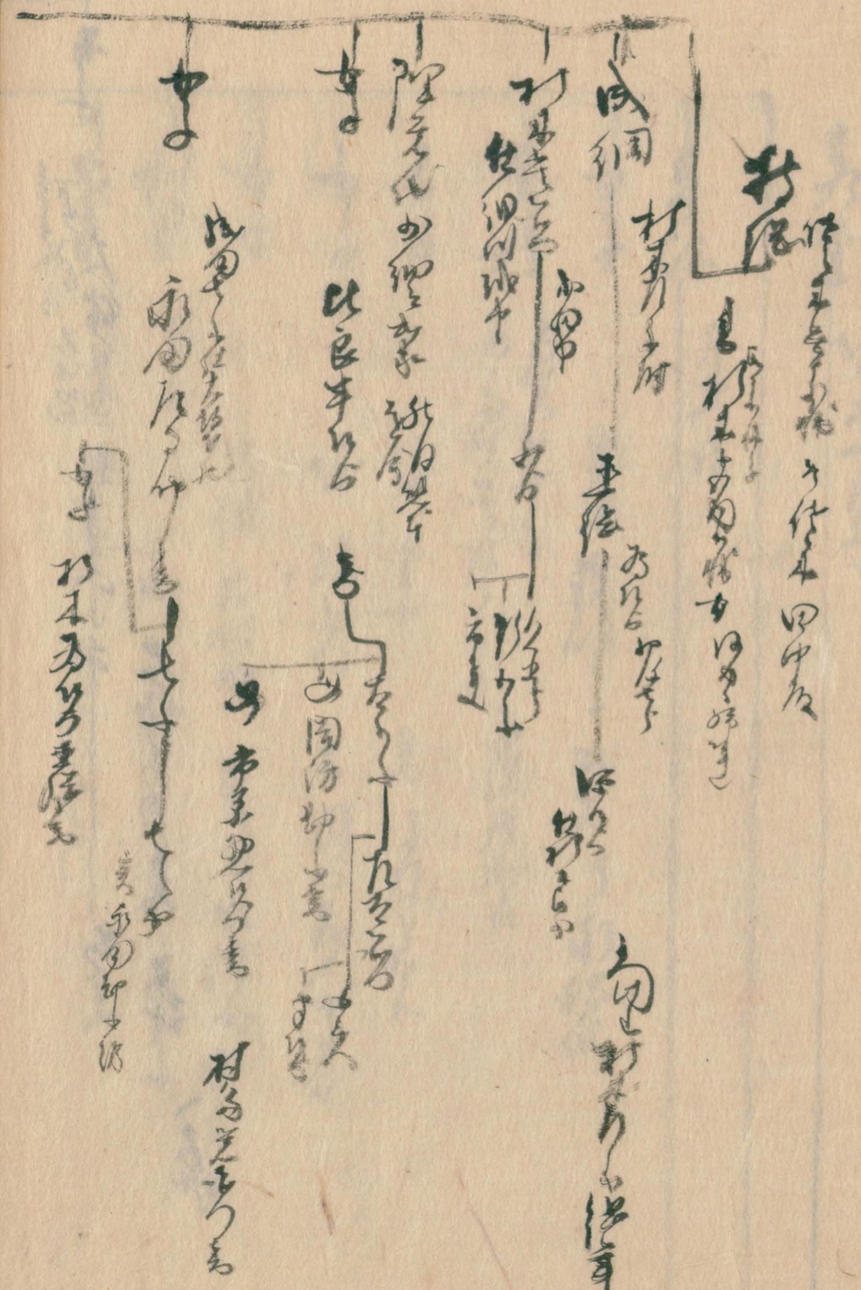
資久　恒岡源兵衛　新左衛門
母

生駿河
慶長十五年廣成年仕
大神宮元和二年辰年仕
台徳公為大仏番賜三百五十石皆川山城守俊時
寛永十年癸酉二七並加合賜五百五十石同廿年癸酉
御鉄炮玉薬番行延宝七年庚申依老辞為小普請
貞享二年乙丑正月四歳年
于陽山了春居士
葬牛込薬園山松源寺

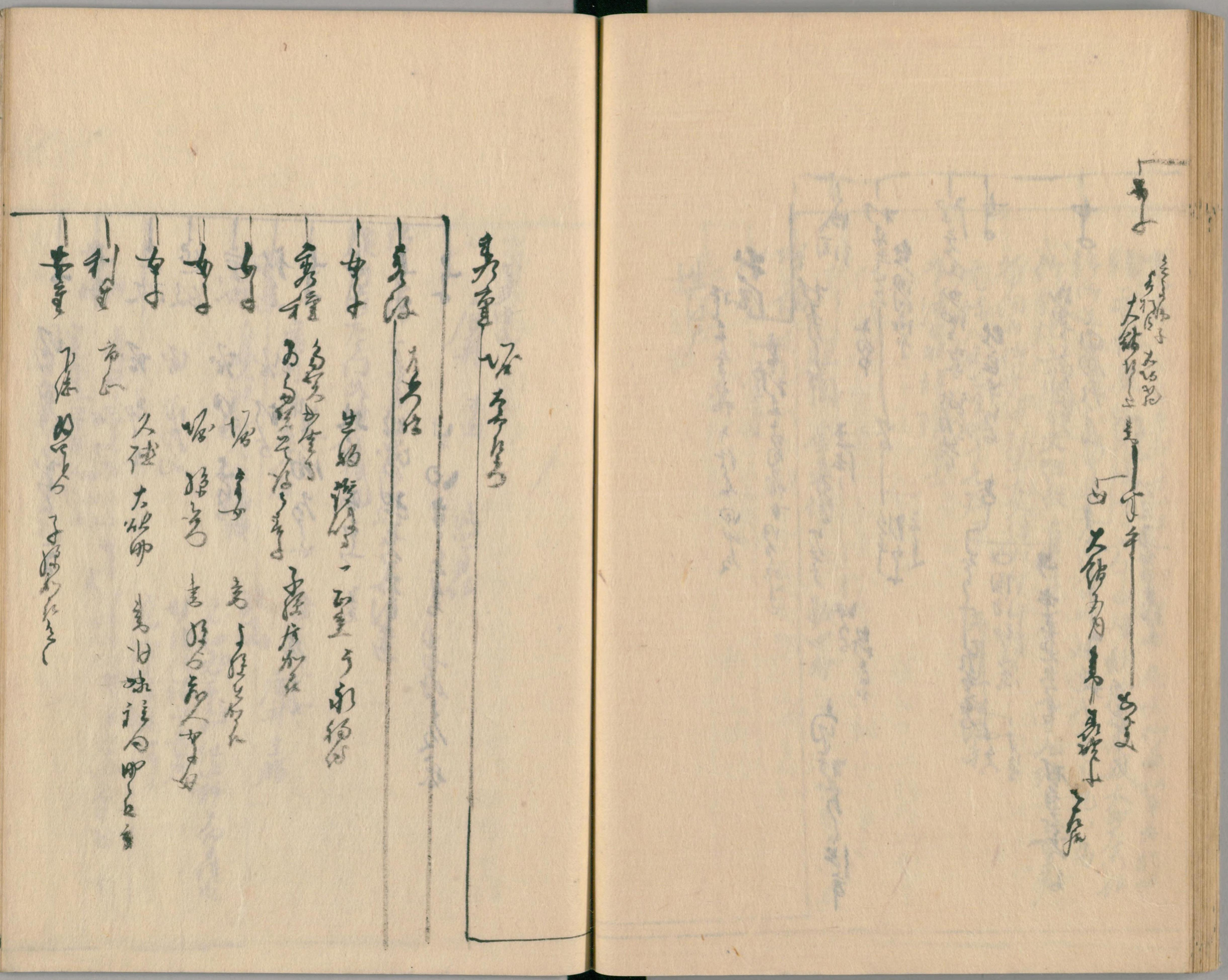
資勝　恒岡佑大夫
母

生江戸

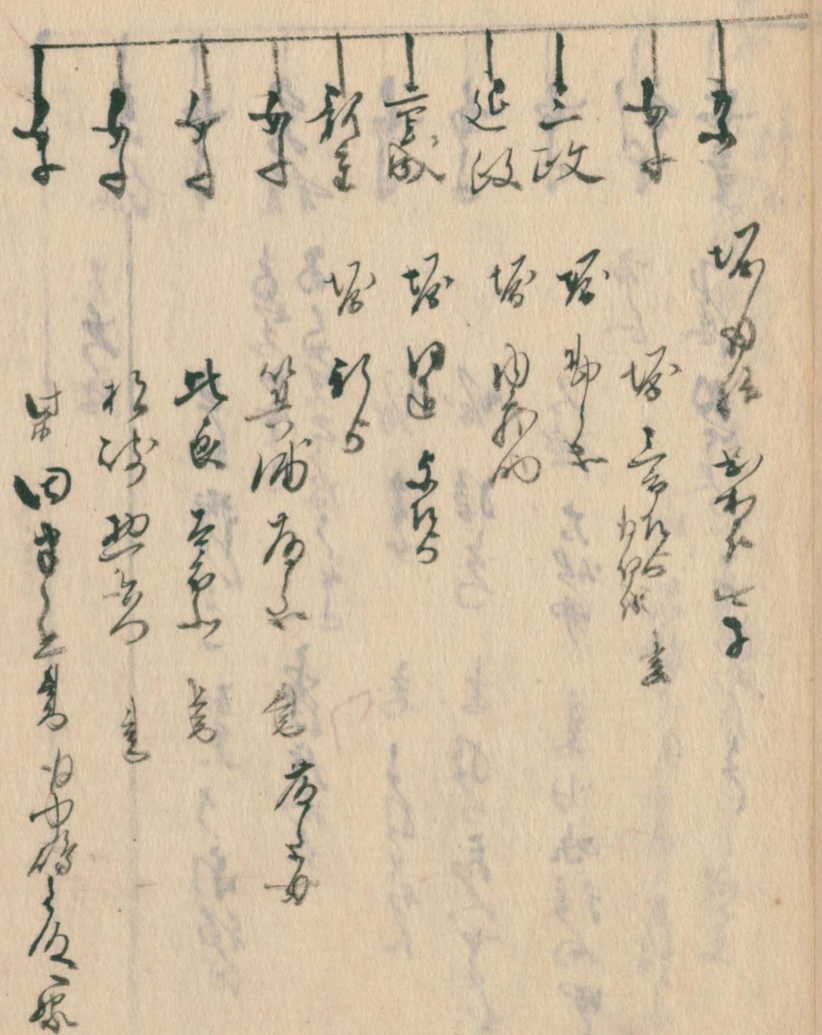
寛永十七年正月十一日部屋住為大御番松平弟記組
賜二百俵 寛永元年甲子六十四歳新御番番頭太郎左衛門組
修理亮二千俵 武田與左衛門組時 延宝七年未九月八日
御能地主殿頭又四郎役 貞享二年乙丑七月九日 五百石
菊間御番老中列坐大久保加賀守傳ゝ
元禄八年乙亥十七歳年
于法名羽祥隆居士

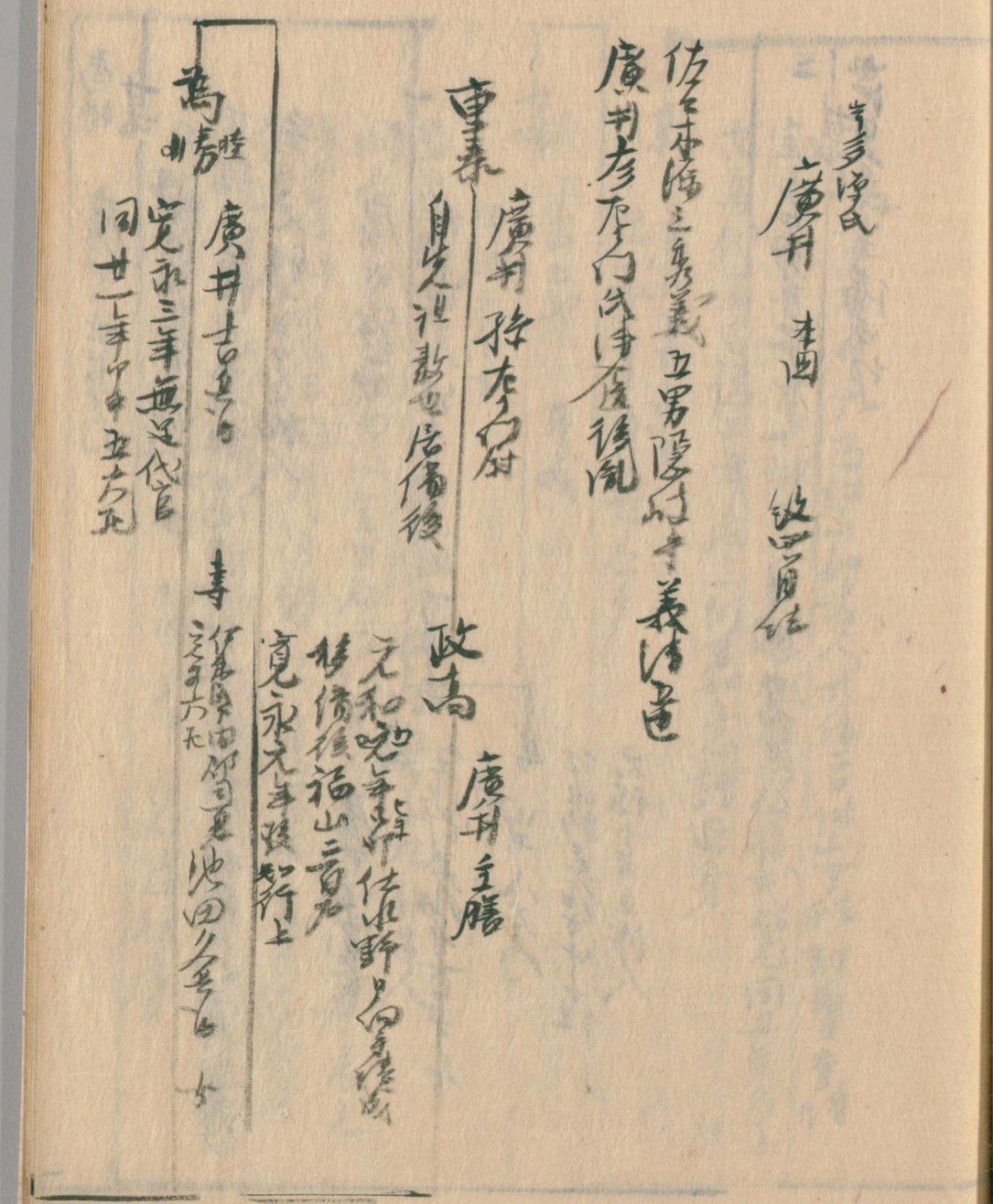


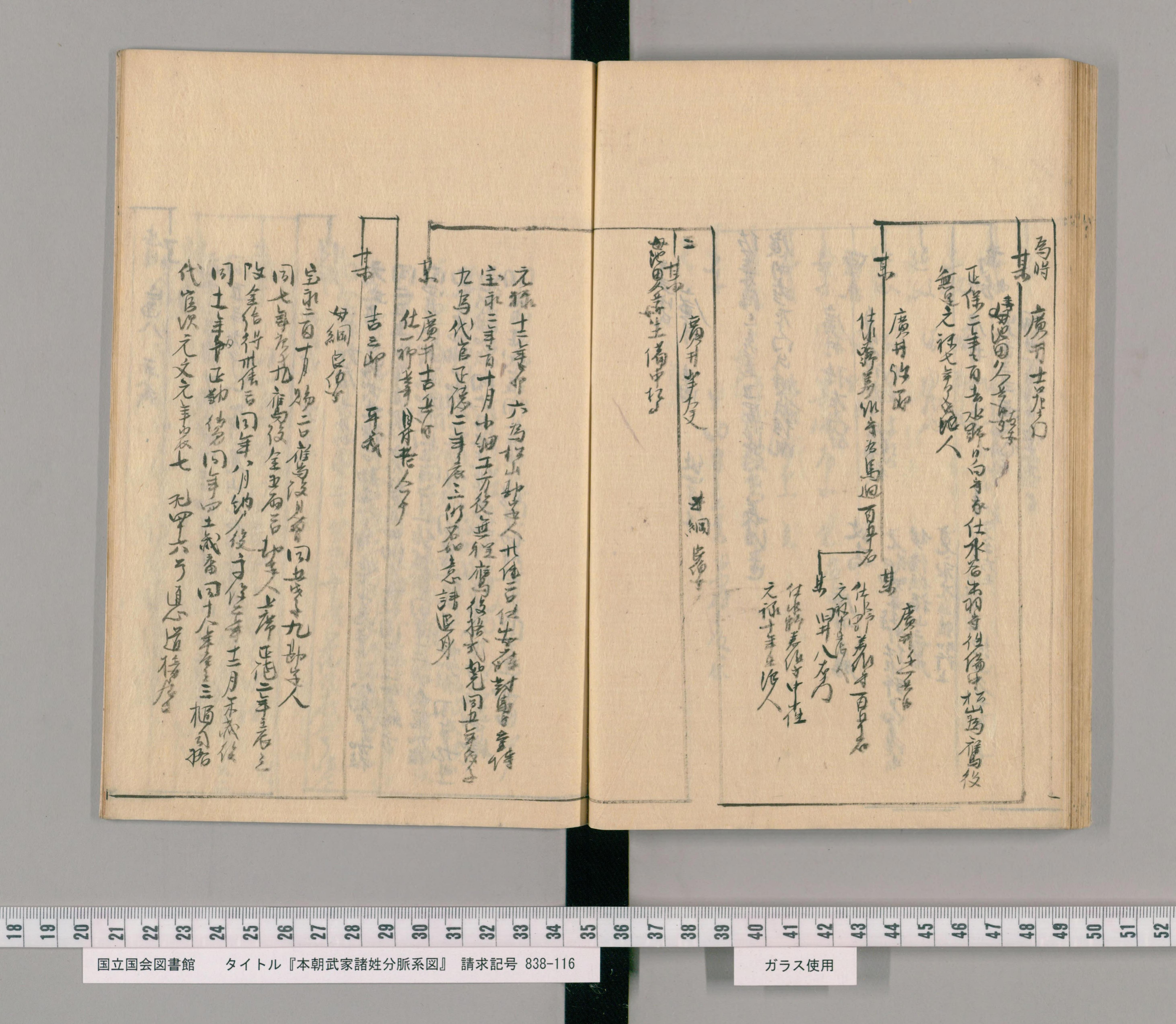
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用




廣井 書四 政高 廣井主膳
廣井孫左衛門
寺



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

[illegible] 富八 平義

[illegible]

元文元年[illegible]十四歳廿位に叙し[illegible]
同五年[illegible]三 [illegible]義山元[illegible]廿三

[illegible] 九郎次郎 半支

[illegible]加役[illegible]

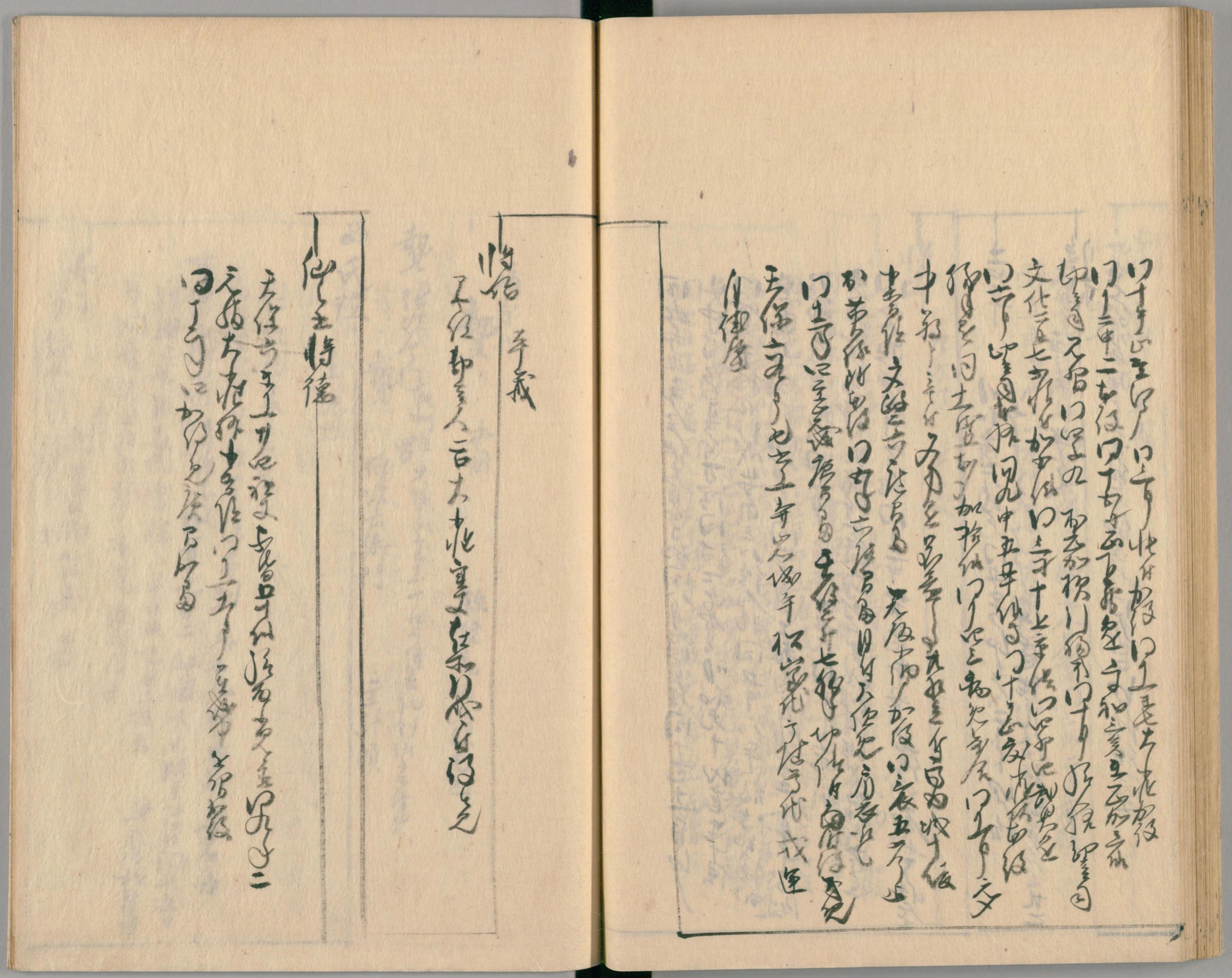
元文五申[illegible]四歳廿位に叙し[illegible]延元年[illegible]八幡[illegible]加役
同二丑五[illegible]番加役 寛延元辰四月[illegible]加役同三巳二貫[illegible]
同四月[illegible]加役同三年午三月[illegible]帳掛同年十一月代官加役
宝暦元申四月[illegible]加役同十月本役同[illegible]掛加役同年九月[illegible]
[illegible]掛加役同[illegible]七[illegible]
同七丑正代官同八年[illegible]十時手切[illegible]故元代官[illegible]

同[illegible]五[illegible]同[illegible]
山中[illegible]
同[illegible]五種[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

吉平 [illegible]

[illegible]福 平義 半支

[illegible]



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

藤原姓

贄

本國

贄 陸奥守 従五位下 男 天平十五年正月十九日 従五位下 贄 陸奥守 右衛門

敏敦 左内大臣 従二位

氏隆 生 純利

主計頭

仕 純利 家 吉宗 后

止 德 元年 四月 五日 侯爵 到 御年 九 賜 宰知三百石 為

有德 公 御 出生 享保 元 四 年 七月 二 叙 諸大夫 改 主計頭 同 廿 日

拝謝之献 銀 馬代 享保 三年 戊戌 九月 二 廿 日 死 年 未 覚 源心 居士

于 同 寺 院 葬 法 名

女子 寅 鈴木 田巳 鈴 川井 豊物 信 與 寺

正周　贄　陸一郎　左膳

貞　貞分

生江戸

享保三年戊戌十一五跡目菊岡帝御老中利望卜面山城守傳之

為七年給

同四年己亥七廿八為　元仰世享保十二年丁未十二　御免

延享二年乙丑移　御者光後依病辞為寄合

宝暦七年丁丑十二十二致仕

安永元年壬申正十六歿年七十五同寺

号真正院殿貞巖英相居士

正壽　贄　市之丞　壽寺　越前寺　安藝寺

母家女

妻

安永二年癸巳五五歿年同寺

号自照院殿玉樹貞操大姉

享保十四年己酉生江戸

寛延四年辛未三十九部屋住為

若君付附御伽　宝暦五年乙亥十七為御小性元也

同元年辛卯十二十八叙諸大夫改壽水守

同七年丁丑十二十二家督三百石西尾隠岐守傳之

同八年戊寅九　改越前守　安永七年戊戌二廿八為御先手

了組頭 天明四年辰七月六日為御番行改安藝守
寛政五年癸丑廿二日加役百石 賜四百石
同七年乙卯十一月十九日卒享年五十五 菩提寺
号寛量院殿海印照信居士

女子 智 川井監物 久周妻

女子 板橋

正房 贄 市之丞 陸奥守

母

生母

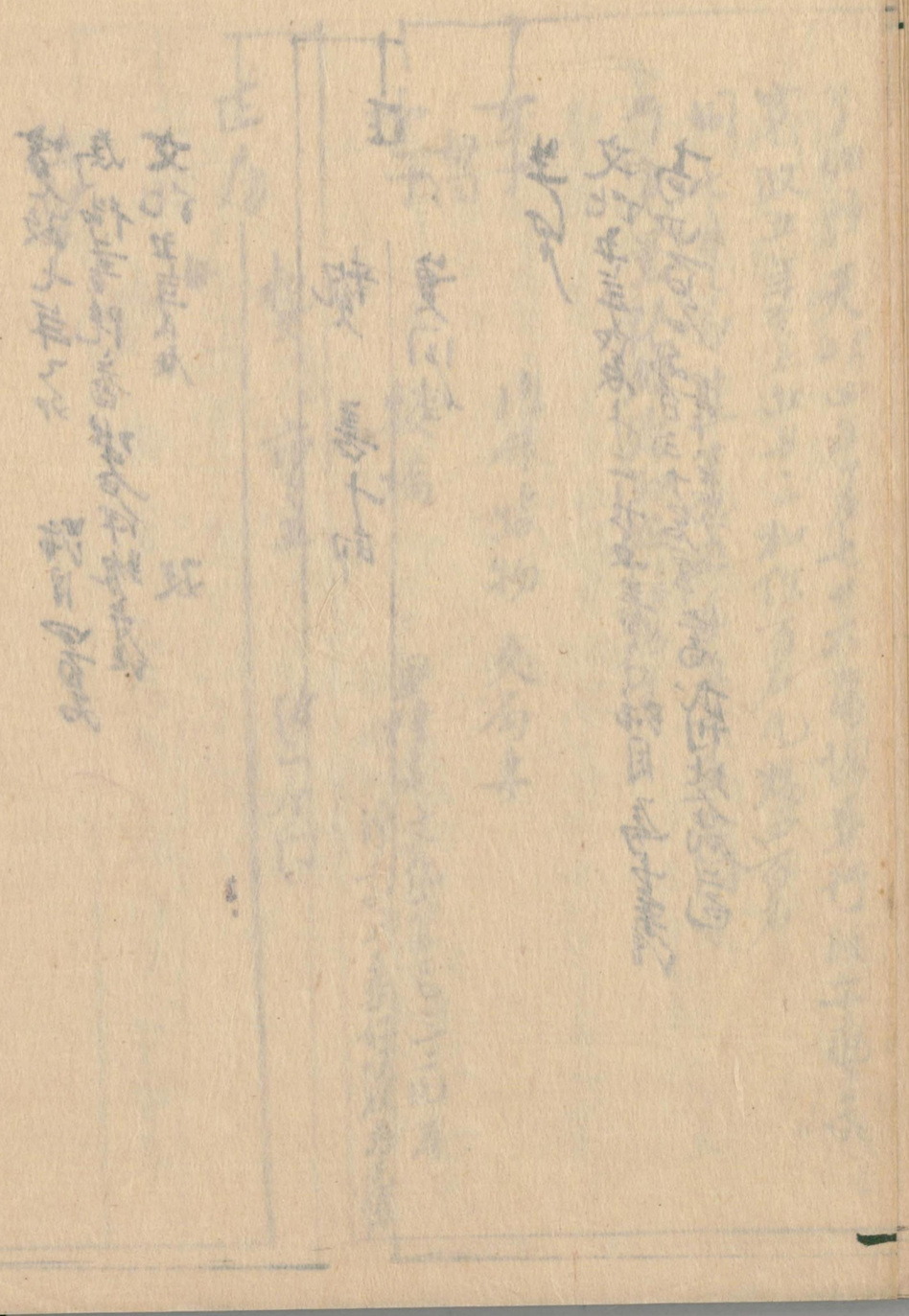
寛政七年乙卯 海月四百石
為御書院番 若年寄
文化五年戊辰 改

正 贄 善十郎 寛政四年

生母

文化五年戊辰十二月廿五日養子 海月為小普請
高四百石 外番三十名 寄合 武州比企郡二邑

838
297
116



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用